

# 斐伊川水系水害リスクマップ(分割図)

---

令和4年3月23日

斐伊川流域治水協議会

# 浸水が想定される範囲

---



浸水が想定される範囲を表示

浸水が想定される範囲を表示

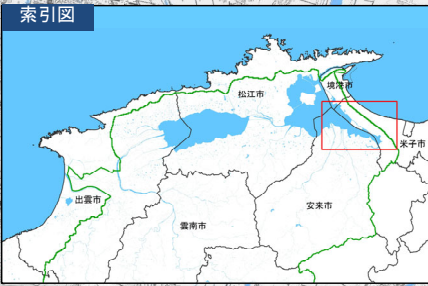
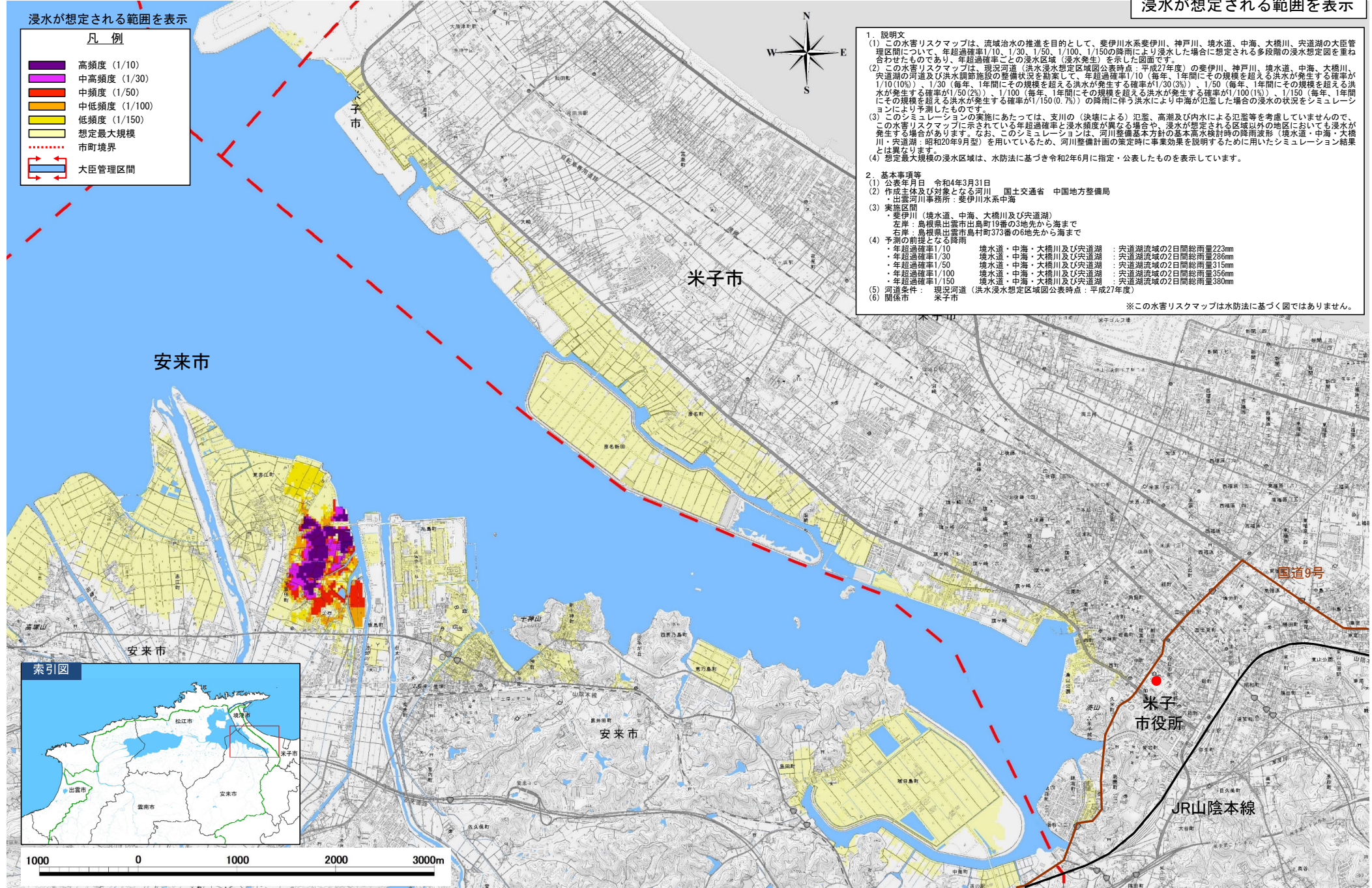
**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間

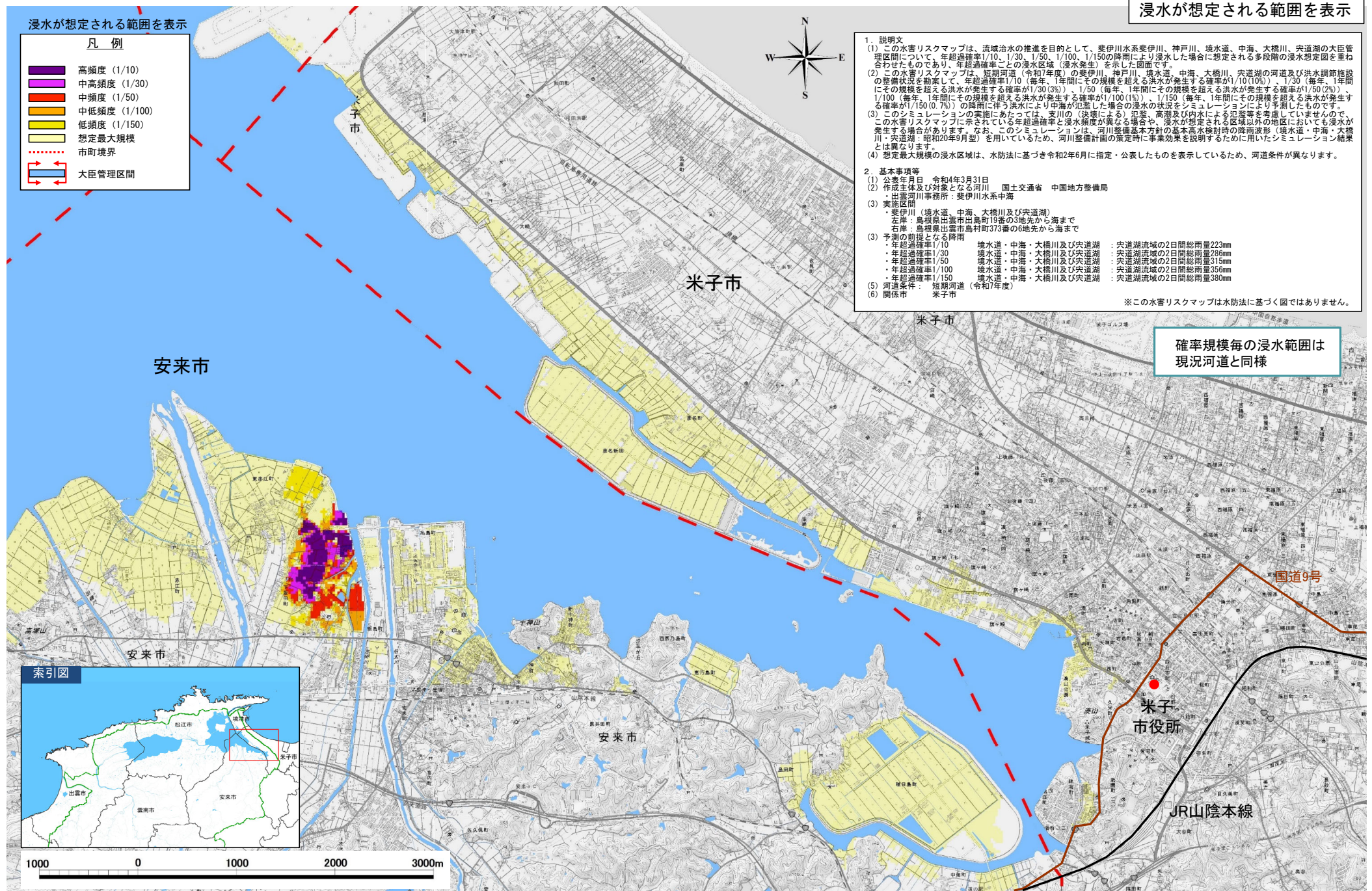


1. 説明文
    - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水発生）を示した図面です。
    - (2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により中滞が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
    - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
    - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。
  2. 基本事項等
    - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
    - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
・ 出雲河川事務所：斐伊川水系中海
    - (3) 実施区間  
・ 斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）  
左岸：鳥根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：鳥根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
    - (4) 予測の前提となる降雨
 

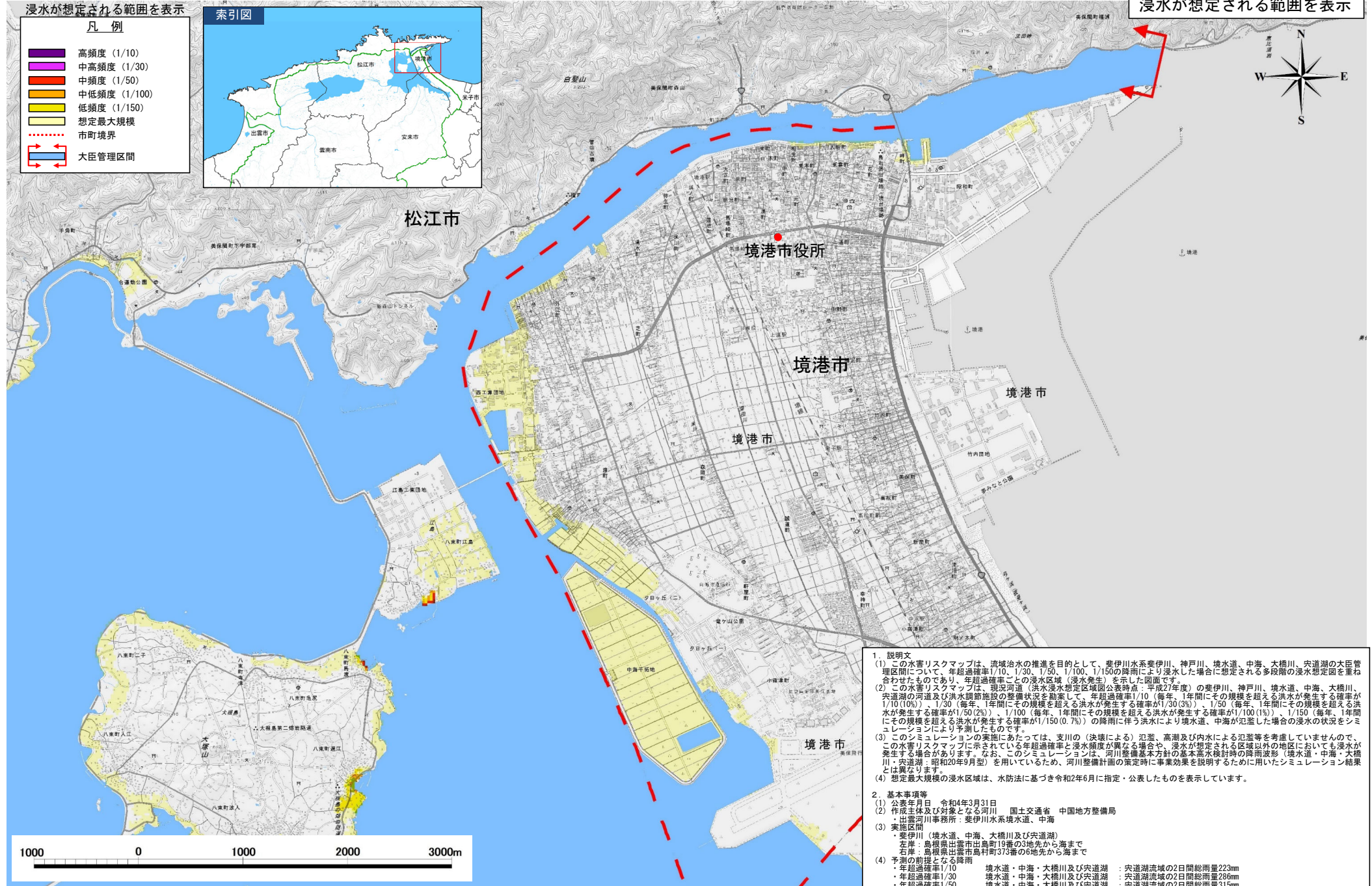
年超過確率1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量223mm
年超過確率1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量286mm
年超過確率1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量315mm
年超過確率1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量356mm
年超過確率1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
    - (5) 河道条件：現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）
    - (6) 関係市 米子市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。











浸水が想定される範囲を表示

凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水発生）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により境水道、中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。

(4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和4年3月31日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
 ・出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海

(3) 実施区間  
 ・斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）  
 左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
 右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで

(4) 予測の前堤となる降雨

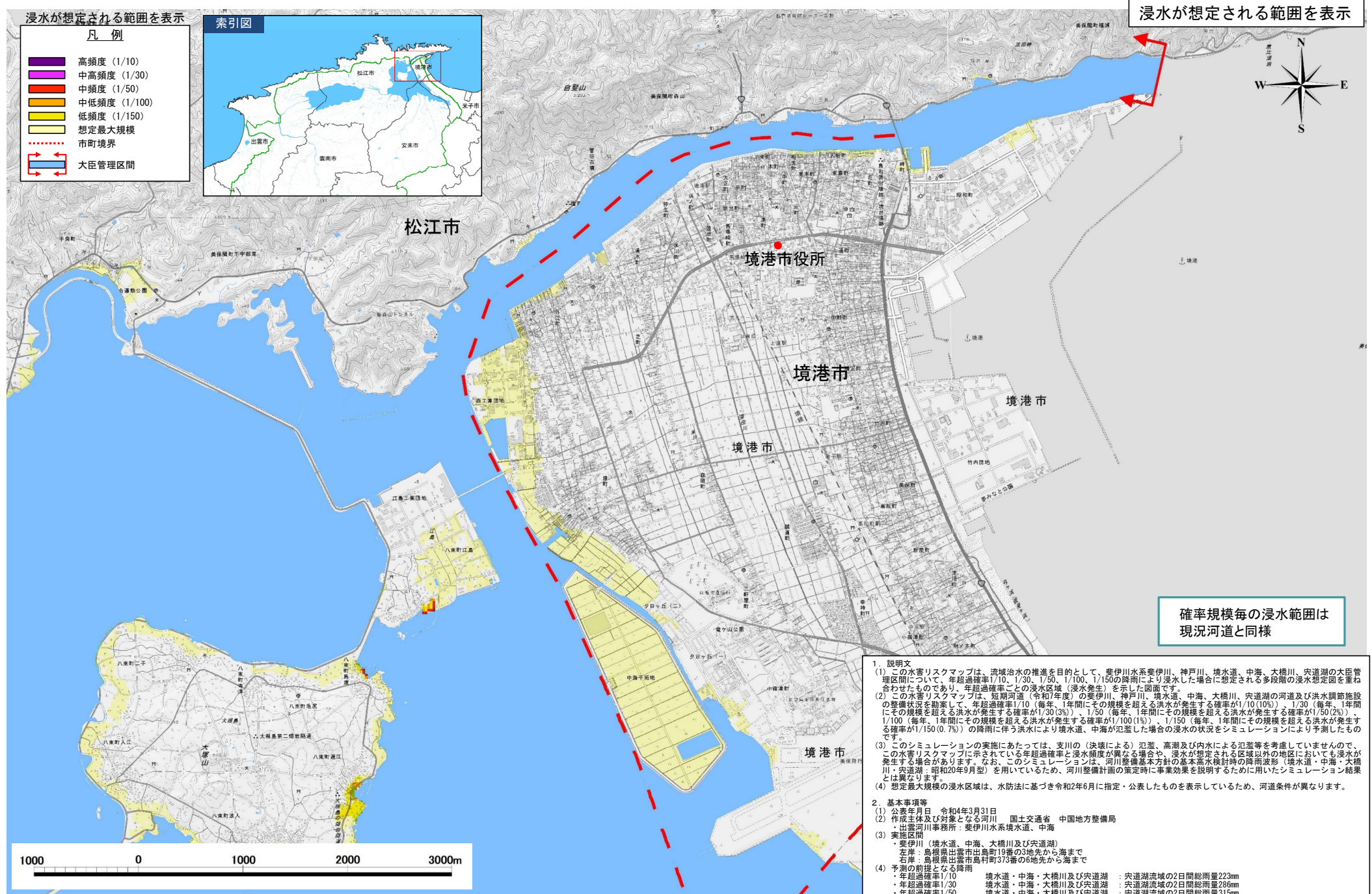
境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量223mm	
年超過確率1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量289mm
年超過確率1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量315mm
年超過確率1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量359mm
年超過確率1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
年超過確率1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm

(5) 河道条件：現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）

(6) 関係市 境港市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。





浸水が想定される範囲を表示

凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間

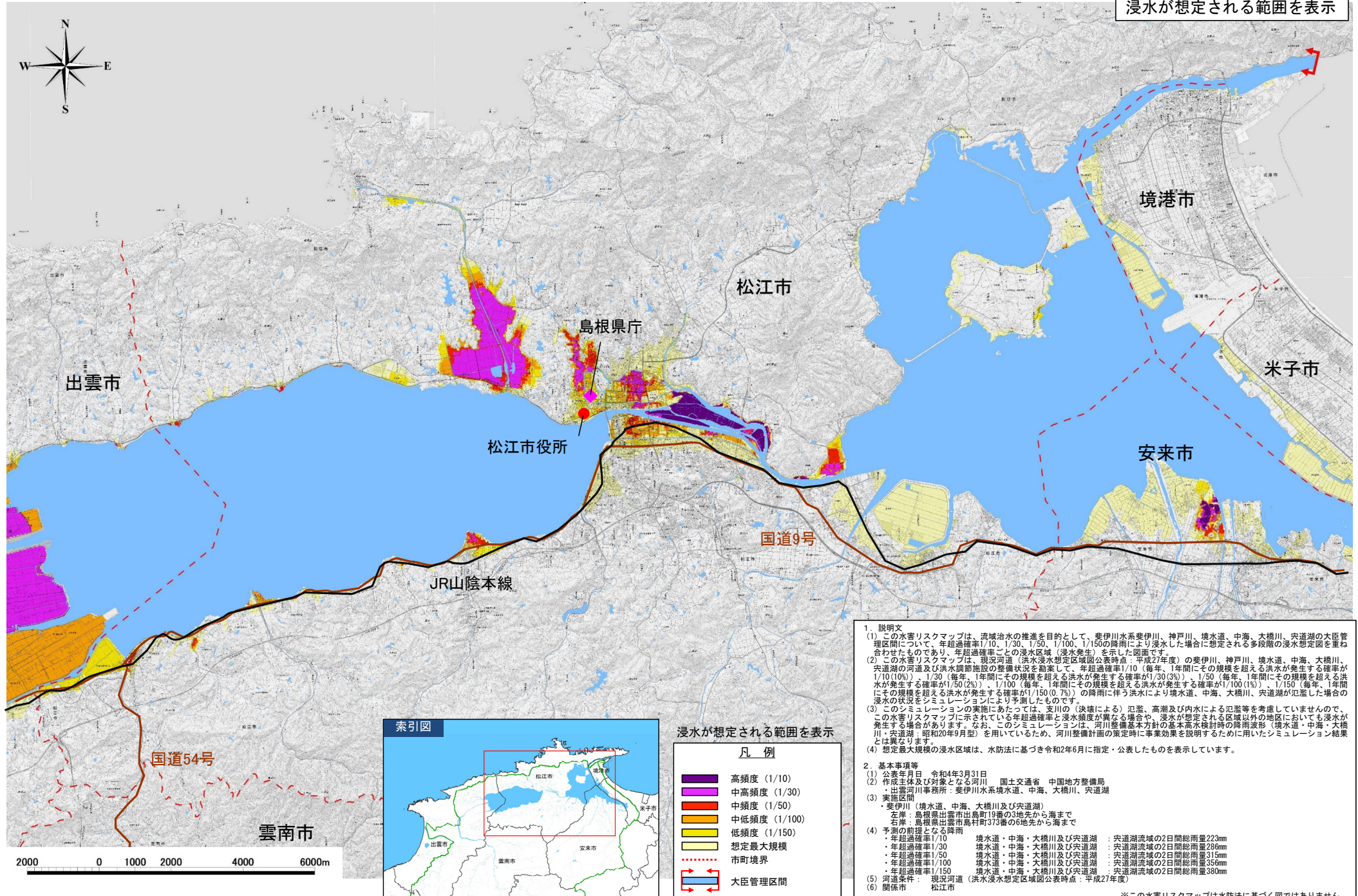


浸水が想定される範囲を表示

確率規模毎の浸水範囲は  
現況河道と同様

1. 説明文
- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水発生）を示した図面です。
  - この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により境水道、中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- 公表年月日 令和4年3月31日
  - 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
・出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海
  - 実施区間  
・斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出雲町19番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
  - 予測の前堤となる降雨  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量289mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量359mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - 河道条件：短期河道（令和7年度）
  - 関係市 境港市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。





浸水が想定される範囲を表示



浸水が想定される範囲を表示

凡例

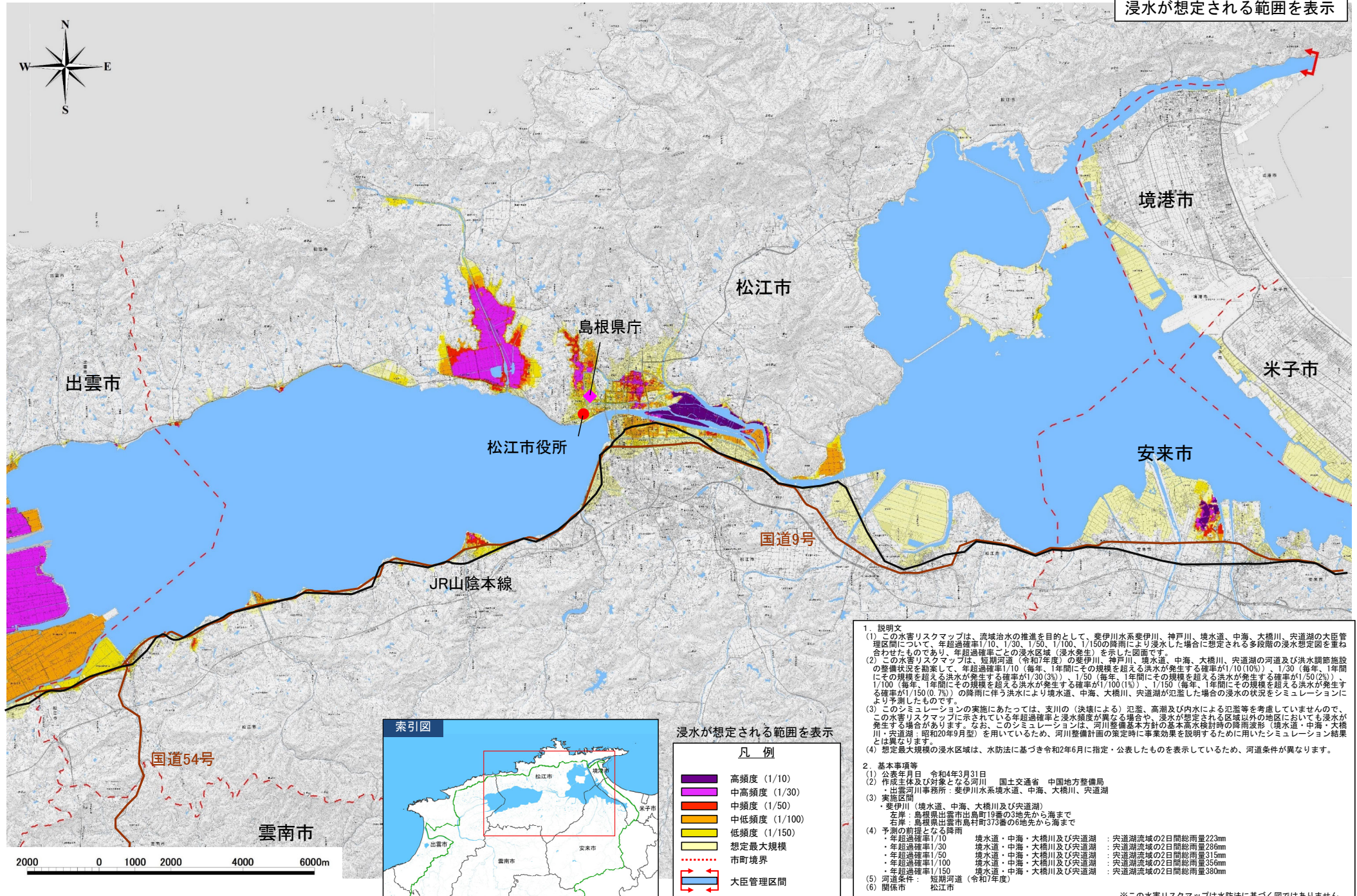
	高頻度 (1/10)
	中高頻度 (1/30)
	中頻度 (1/50)
	中低頻度 (1/100)
	低頻度 (1/150)
	想定最大規模
	市町境界
	大臣管理区間

1. 説明文
    - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水発生）を示した図面です。
    - (2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により境水道、中海、大橋川、宍道湖が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
    - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
    - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。
  2. 基本事項等
    - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
    - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海、大橋川、宍道湖
  3. 実施区間
    - ・斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）
    - 左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで
    - 右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
  4. 予測の前提となる降雨
 

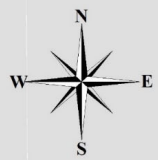
年超過確率1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量223mm
年超過確率1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量206mm
年超過確率1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量315mm
年超過確率1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量356mm
年超過確率1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  5. 河道条件：現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）
  6. 関係市 松江市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。







浸水が想定される範囲を表示



浸水が想定される範囲を表示

凡例

	高頻度 (1/10)
	中高頻度 (1/30)
	中頻度 (1/50)
	中低頻度 (1/100)
	低頻度 (1/150)
	想定最大規模
	市町境界
	大臣管理区間

1. 説明文
- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水発生）を示した図面です。
  - この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により境水道、中海、大橋川、宍道湖が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖、昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- 公表年月日 令和4年3月31日
  - 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海、大橋川、宍道湖
  - 実施区間  
・斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
  - 予測の前提となる降雨  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量208mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - 河道条件：短期河道（令和7年度）
  - 関係市 松江市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。





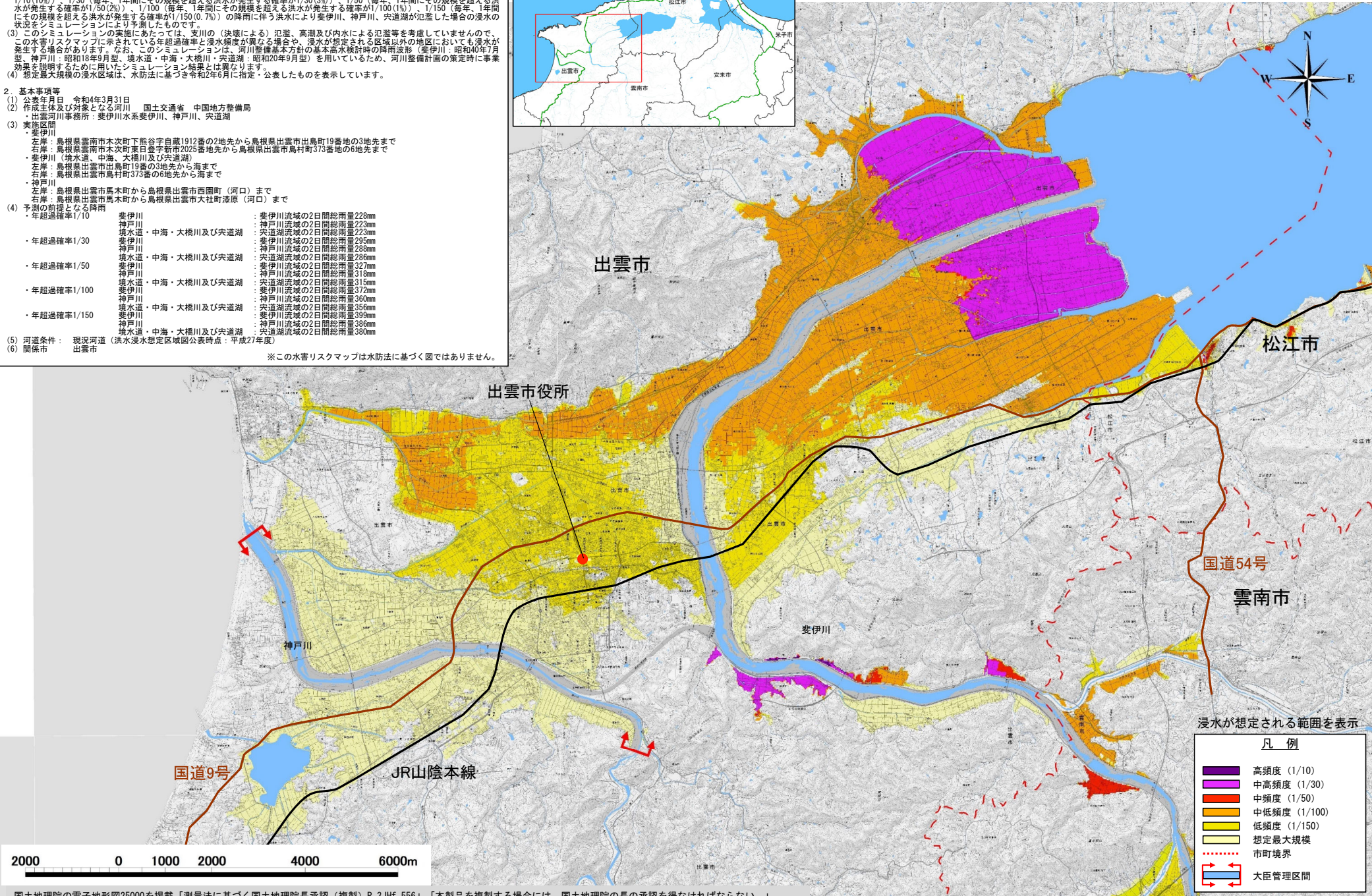
1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水発生）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により斐伊川、神戸川、宍道湖が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（流域による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（斐伊川：昭和40年7月型、神戸川：昭和18年9月型、境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。

2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年3月31日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
・ 出雲河川事務所：斐伊川水系斐伊川、神戸川、宍道湖
  - (3) 実施区間  
・ 斐伊川  
左岸：島根県雲南市木次町下熊谷字自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで  
右岸：島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで  
・ 斐伊川（境水道・中海、大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで  
・ 神戸川  
左岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市西園町（河口）まで  
右岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市大社町漆原（河口）まで
  - (4) 予測の前提となる降雨  

年超過確率1/10	斐伊川	斐伊川流域の2日間総雨量228mm
	神戸川	神戸川流域の2日間総雨量223mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量223mm
年超過確率1/30	斐伊川	斐伊川流域の2日間総雨量225mm
	神戸川	神戸川流域の2日間総雨量228mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量286mm
年超過確率1/50	斐伊川	斐伊川流域の2日間総雨量327mm
	神戸川	神戸川流域の2日間総雨量318mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量315mm
年超過確率1/100	斐伊川	斐伊川流域の2日間総雨量372mm
	神戸川	神戸川流域の2日間総雨量360mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量356mm
年超過確率1/150	斐伊川	斐伊川流域の2日間総雨量399mm
	神戸川	神戸川流域の2日間総雨量388mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - (5) 河道条件： 現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）
  - (6) 関係市 出雲市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づき図ではありません。



浸水が想定される範囲を表示



浸水が想定される範囲を表示

- 凡例
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 低頻度 (1/150)
  - 想定最大規模
  - 市町境界
  - 大臣管理区間



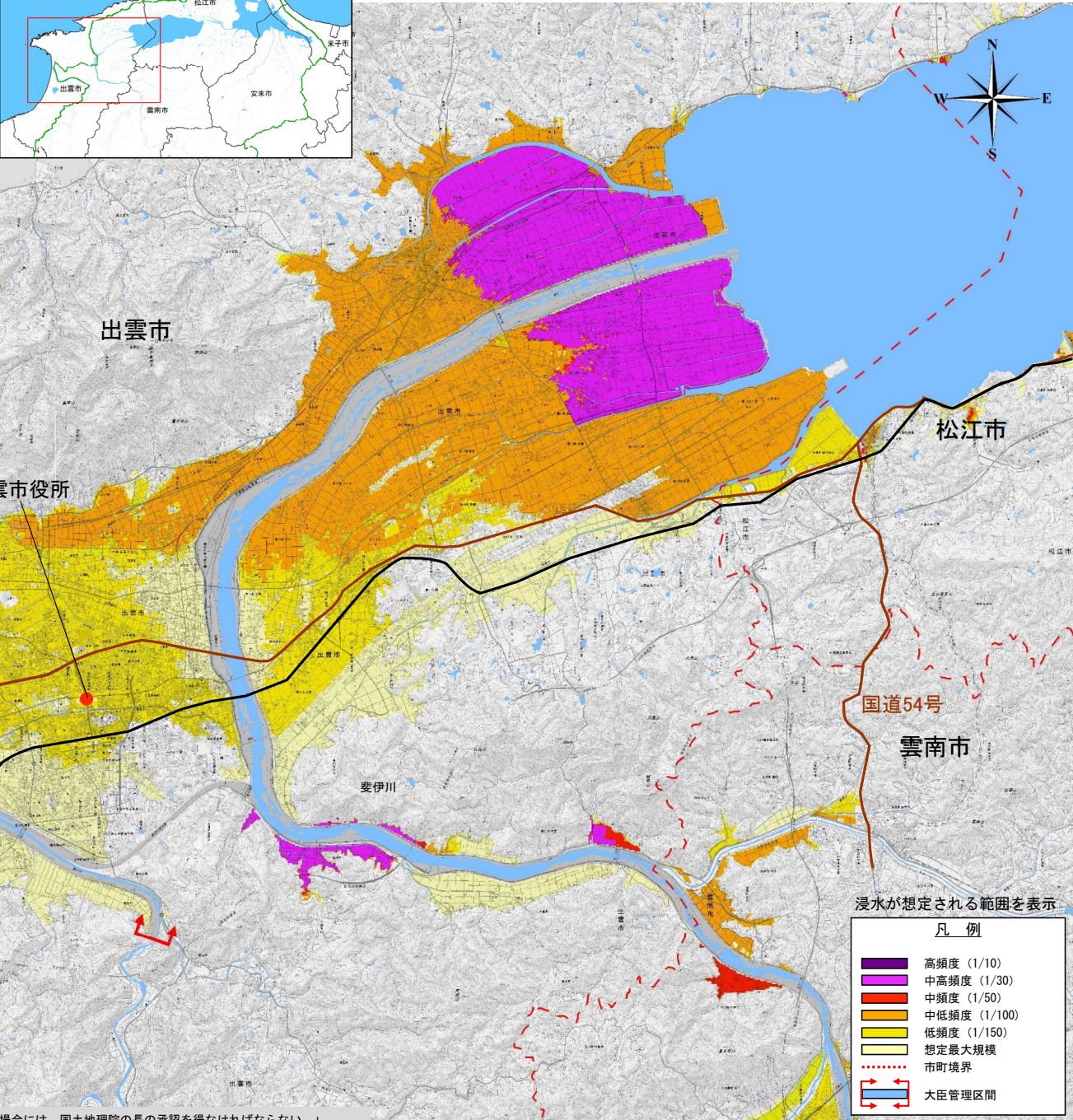


1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水発生）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により斐伊川、神戸川、宍道湖が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（斐伊川：昭和40年7月型、神戸川：昭和18年9月型、境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年3月31日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
  - (3) 実施区間
    - 出雲河川事務所：斐伊川水系斐伊川、神戸川、宍道湖
    - 斐伊川
      - 左岸：島根県雲南市木次町下熊谷字自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで
      - 右岸：島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで
    - 神戸川
      - 左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで
      - 右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
    - 境水道
      - 左岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市西園町（河口）まで
      - 右岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市大社町彦原（河口）まで
  - (4) 予測の前提となる降雨
 

年超過確率1/10	斐伊川流域の2日間総雨量228mm
年超過確率1/30	斐伊川流域の2日間総雨量223mm
年超過確率1/50	斐伊川流域の2日間総雨量223mm
年超過確率1/100	斐伊川流域の2日間総雨量228mm
年超過確率1/150	斐伊川流域の2日間総雨量286mm
  - (5) 河道条件：短期河道（令和7年度）
  - (6) 関係市 出雲市



浸水が想定される範囲を表示



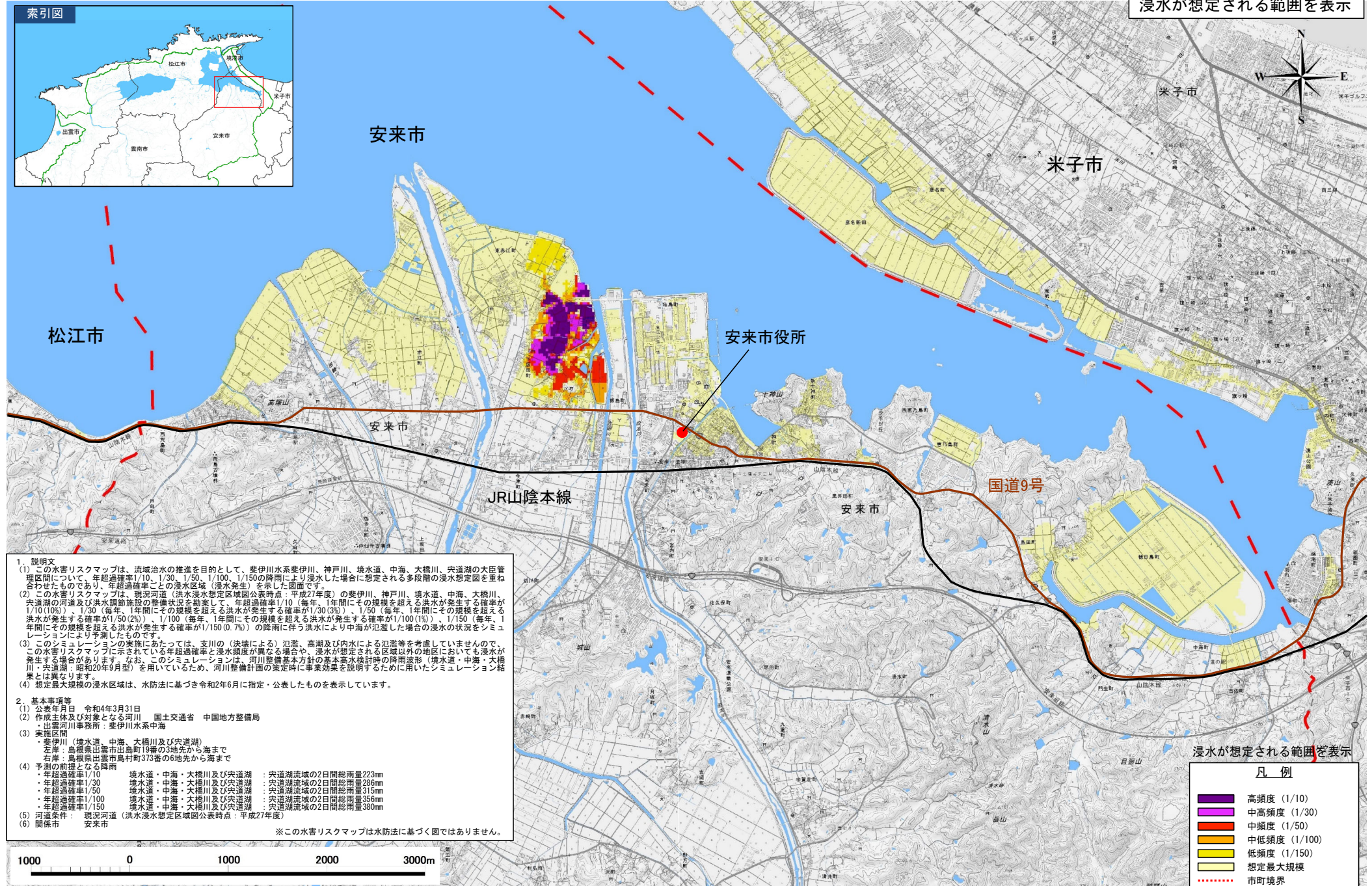
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

浸水が想定される範囲を表示

- 凡例
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 低頻度 (1/150)
  - 想定最大規模
  - 市町境界
  - 大臣管理区間







浸水が想定される範囲を表示

浸水が想定される範囲を表示

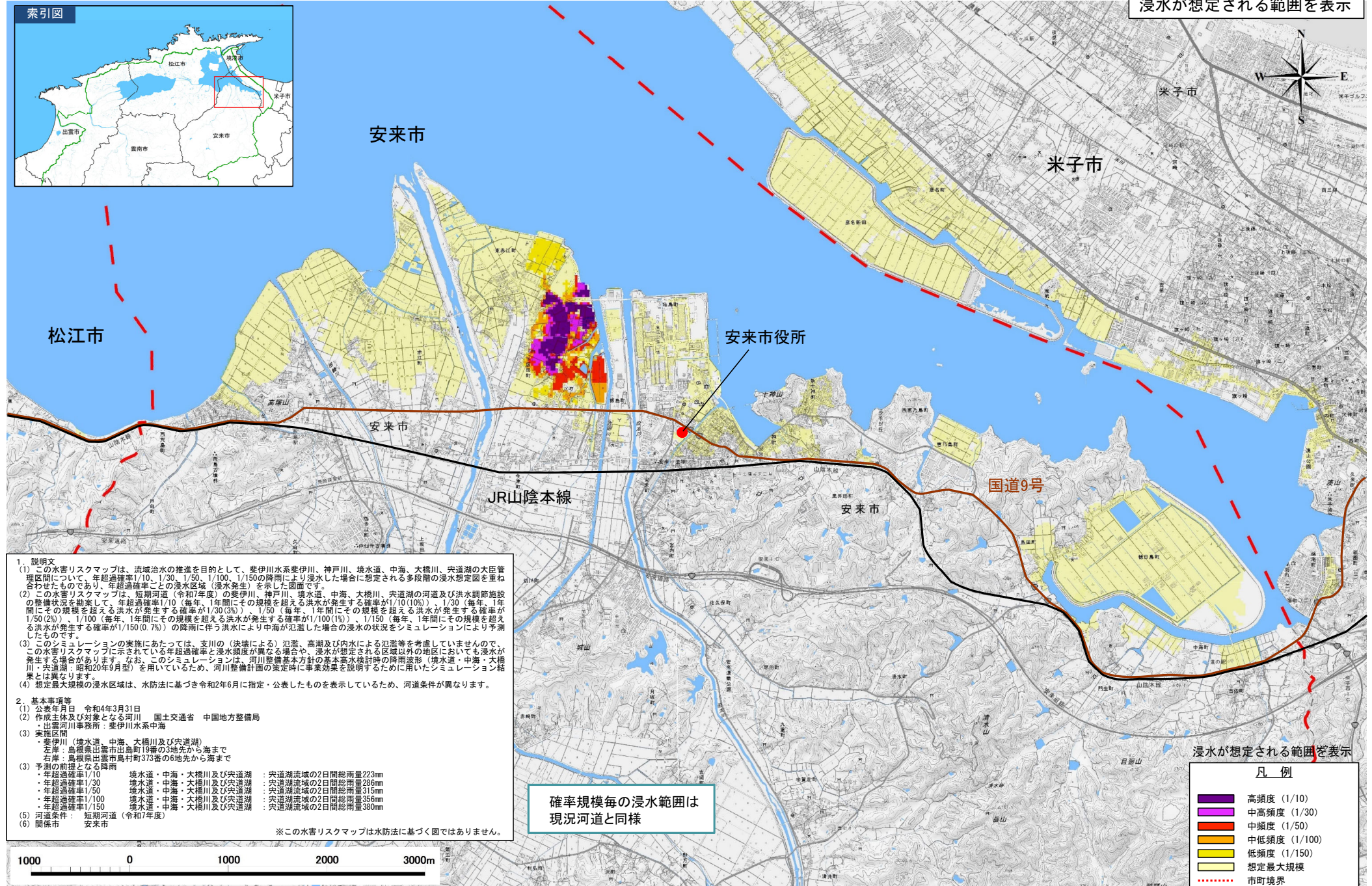
凡例

	高頻度 (1/10)
	中高頻度 (1/30)
	中頻度 (1/50)
	中低頻度 (1/100)
	低頻度 (1/150)
	想定最大規模
	市町境界
	大臣管理区間

1. 説明文
- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水発生）を示した図面です。
  - この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（現水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。
2. 基本事項等
- 公表年月日 令和4年3月31日
  - 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
・出雲河川事務所：斐伊川水系中海
  - 実施区間  
・斐伊川（境水道・中海・大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
  - 予測の前提となる降雨  
・年超過確率1/10 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
・年超過確率1/30 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量286mm  
・年超過確率1/50 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
・年超過確率1/100 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm  
・年超過確率1/150 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - 河道条件：現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）
  - 関係市 安来市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。







浸水が想定される範囲を表示

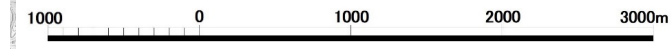
浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文
- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水発生）を示した図面です。
  - この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（現水道・中海・大橋川・宍道湖、昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- 公表年月日 令和4年3月31日
  - 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
・出雲河川事務所：斐伊川水系中海
  - 実施区間  
・斐伊川（境水道・中海・大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出島町13番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
  - 予測の前堤となる降雨  
・年超過確率1/10 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
・年超過確率1/30 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量286mm  
・年超過確率1/50 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
・年超過確率1/100 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm  
・年超過確率1/150 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - 河道条件：短期河道（令和7年度）
  - 関係市 安来市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

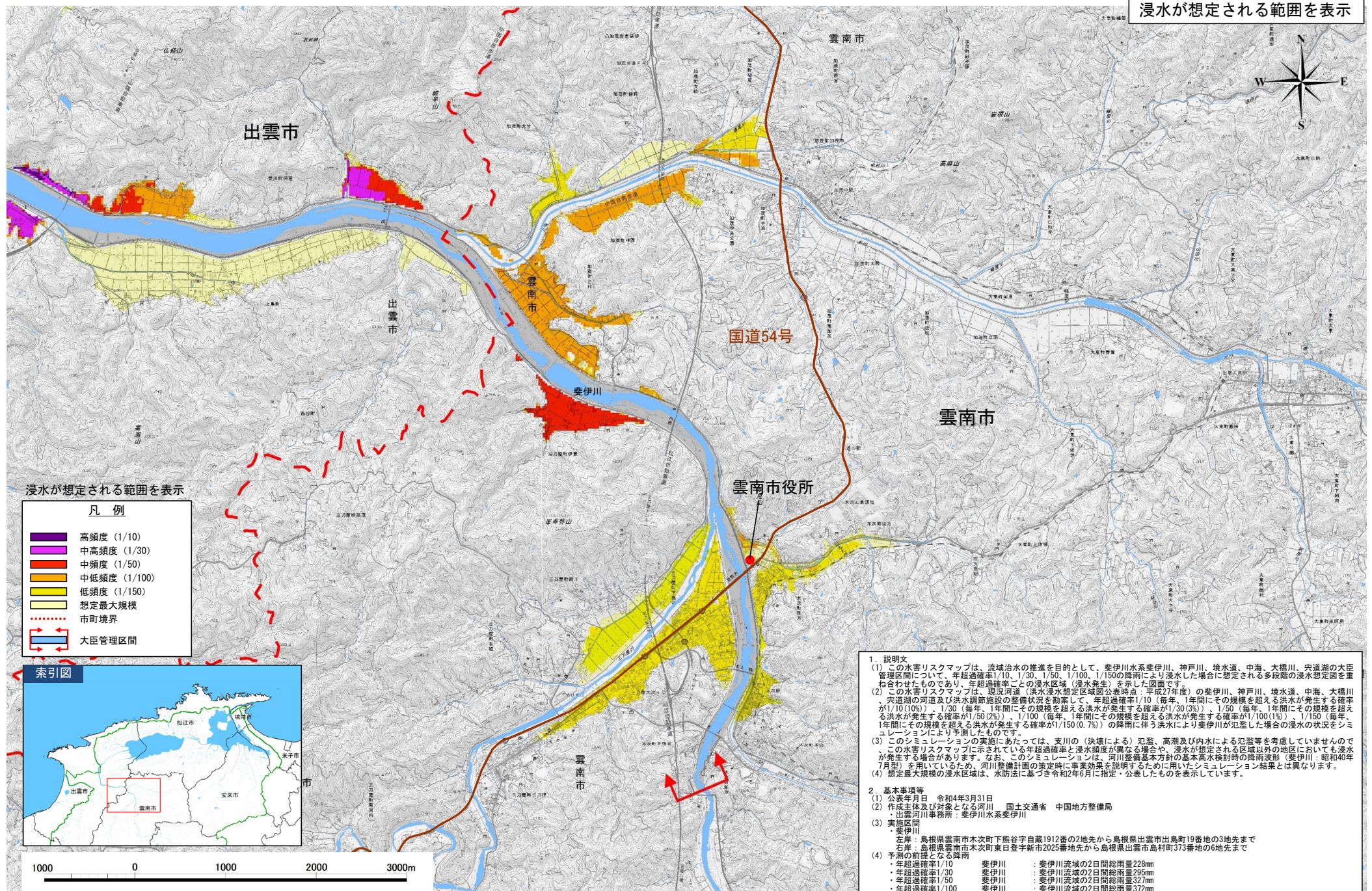
確率規模毎の浸水範囲は  
現況河道と同様

凡例

	高頻度 (1/10)
	中高頻度 (1/30)
	中頻度 (1/50)
	中低頻度 (1/100)
	低頻度 (1/150)
	想定最大規模
	市町境界
	大臣管理区間







浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



**1. 説明文**

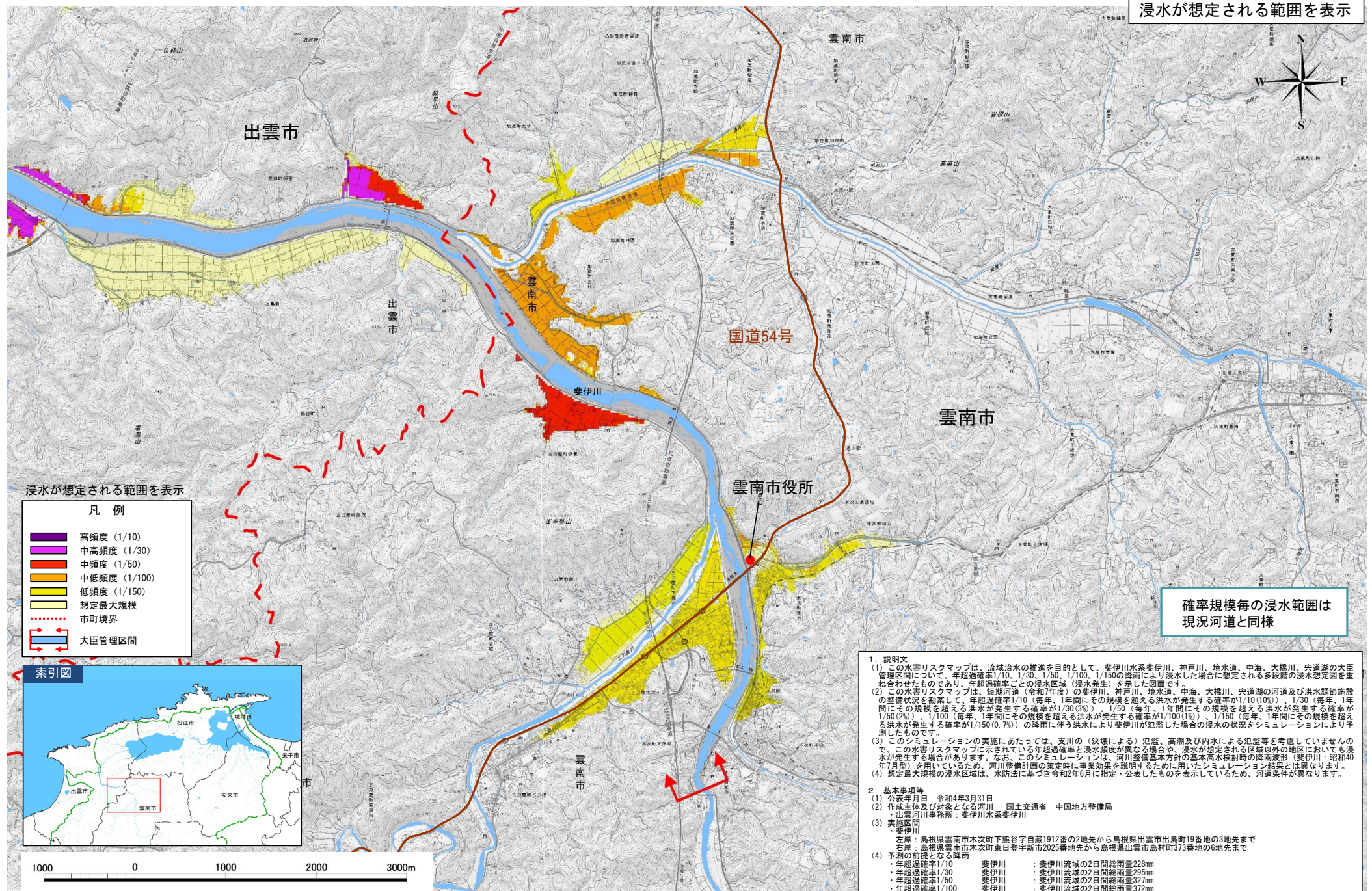
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水範囲）を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により斐伊川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（斐伊川：昭和40年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に基本高水を検討するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
- (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。

**2. 基本事項等**

- (1) 公表年月日 令和4年3月31日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
  - ・出雲河川事務所 斐伊川水系斐伊川
- (3) 実施区間
  - ・斐伊川
    - 左岸 島根県雲南市木次町下熊谷宇自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで
    - 右岸 島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで
- (4) 予測の前提となる降雨
  - ・年超過確率1/10 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量228mm
  - ・年超過確率1/30 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量295mm
  - ・年超過確率1/50 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量327mm
  - ・年超過確率1/100 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量372mm
  - ・年超過確率1/150 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量399mm
- (5) 河道条件: 現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）
- (6) 関係市 雲南市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。





浸水が想定される範囲を表示

浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



確率規模毎の浸水範囲は  
現況河道と同様

1. 説明文
    - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水発生）を示した図面です。
    - (2) この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により斐伊川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
    - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（斐伊川、昭和40年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に基拠図を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
    - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
  2. 基本事項等
    - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
    - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
      - ・出雲河川事務所 斐伊川水系斐伊川
    - (3) 実施区間
      - ・斐伊川
      - 左岸 島根県雲南市木次町下能谷自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで
      - 右岸 島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで
    - (4) 予測の前提となる降雨
      - ・年超過確率1/10 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量228mm
      - ・年超過確率1/30 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量295mm
      - ・年超過確率1/50 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量327mm
      - ・年超過確率1/100 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量372mm
      - ・年超過確率1/150 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量399mm
    - (5) 河道条件: 短期河道（令和7年度）
    - (6) 関係市 雲南市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



**浸水深が50cm (床上浸水相当) 以上の  
浸水が想定される範囲**

---

浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

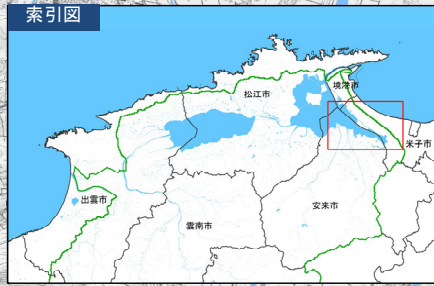
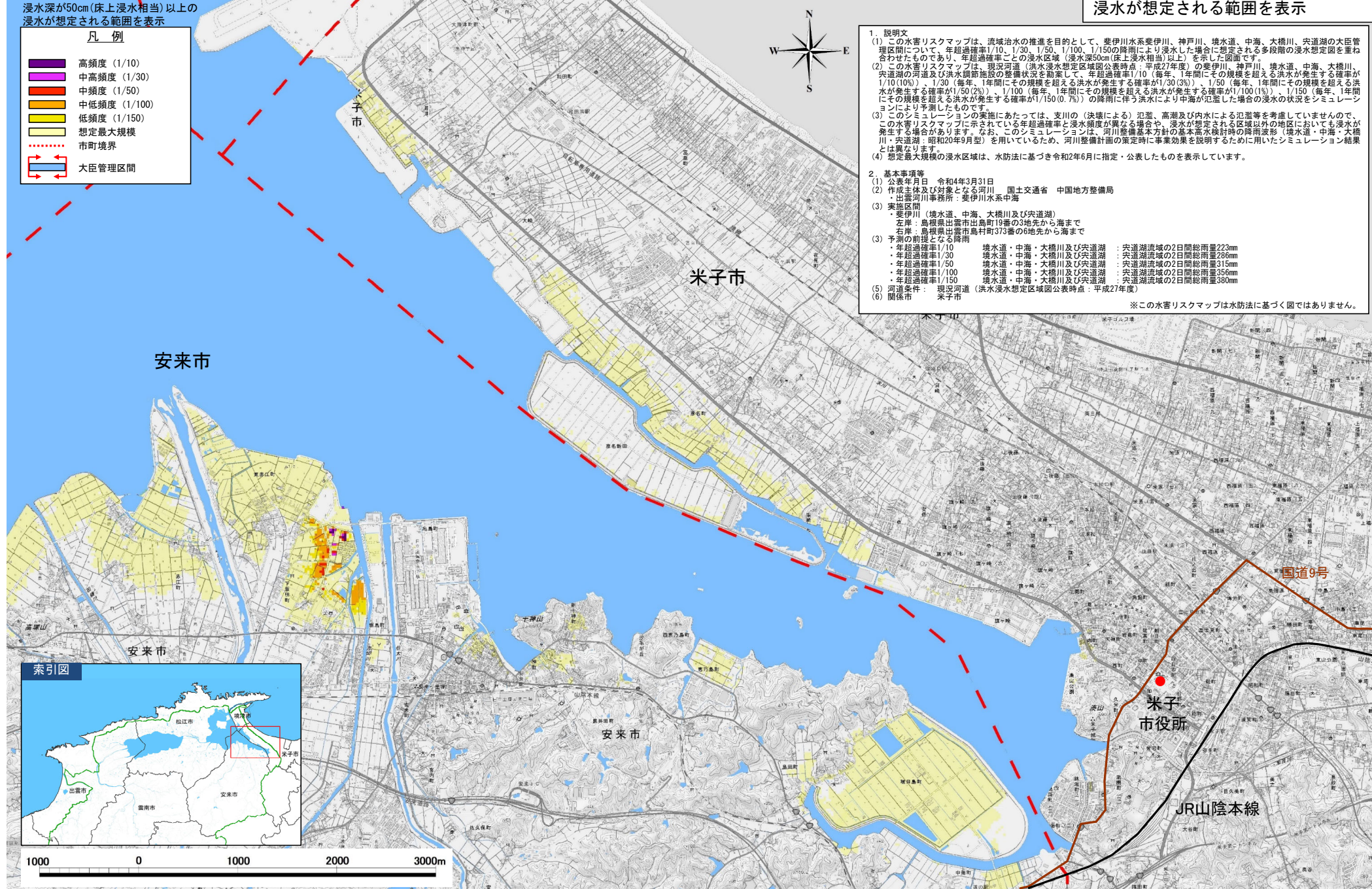
**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



1. 説明文
    - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
    - (2) この水害リスクマップは、現況河道(洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度)の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)、1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により中滞が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
    - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型)を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
    - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。
  2. 基本事項等
    - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
    - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系中海
    - (3) 実施区間  
斐伊川(境水道、中海、大橋川及び宍道湖)  
左岸：鳥根島出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：鳥根島出雲市島村町373番の6地先から海まで
    - (3) 予測の前提となる降雨
 

年超過確率1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量223mm
年超過確率1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量286mm
年超過確率1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量315mm
年超過確率1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量356mm
年超過確率1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
    - (5) 河道条件： 現況河道(洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度)
    - (6) 関係市 米子市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。





浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

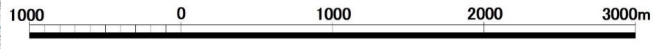
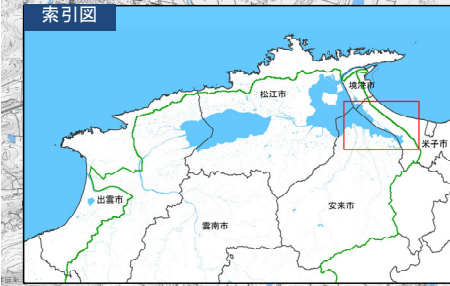
- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間

浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文
    - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
    - (2) この水害リスクマップは、短期河道(令和7年度)の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)、1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
    - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(洪水による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の区域波形(境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型)を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
    - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
  2. 基本事項等
    - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
    - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系中海
    - (3) 実施区間  
・斐伊川(境水道、中海、大橋川及び宍道湖)  
左岸：高根原出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：鳥根原出雲市島村町373番の地先から海まで
    - (3) 予測の前提となる降雨
 

・年超過確率1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	：宍道湖流域の2日間総雨量223mm
・年超過確率1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	：宍道湖流域の2日間総雨量296mm
・年超過確率1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	：宍道湖流域の2日間総雨量315mm
・年超過確率1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	：宍道湖流域の2日間総雨量356mm
・年超過確率1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
    - (5) 河道条件：短期河道(令和7年度)
    - (6) 関係市 米子市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

確率規模毎の浸水範囲は  
現況河道と同様



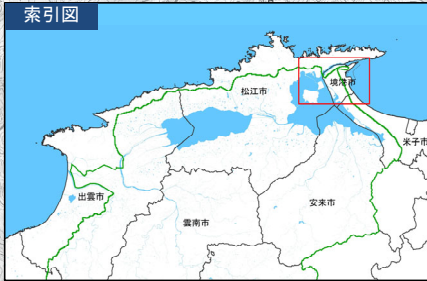


浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



- 1. 説明文**
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により境水道、中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。
- 2. 基本事項等**
- (1) 公表年月日 令和4年3月31日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
・ 出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海
  - (3) 実施区間  
・ 斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
  - (4) 予測の前堤となる降雨
 

境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量223mm	
年超過確率1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量289mm
年超過確率1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量315mm
年超過確率1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量359mm
年超過確率1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
年超過確率1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - (5) 河道条件：現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）
  - (6) 関係市 境港市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

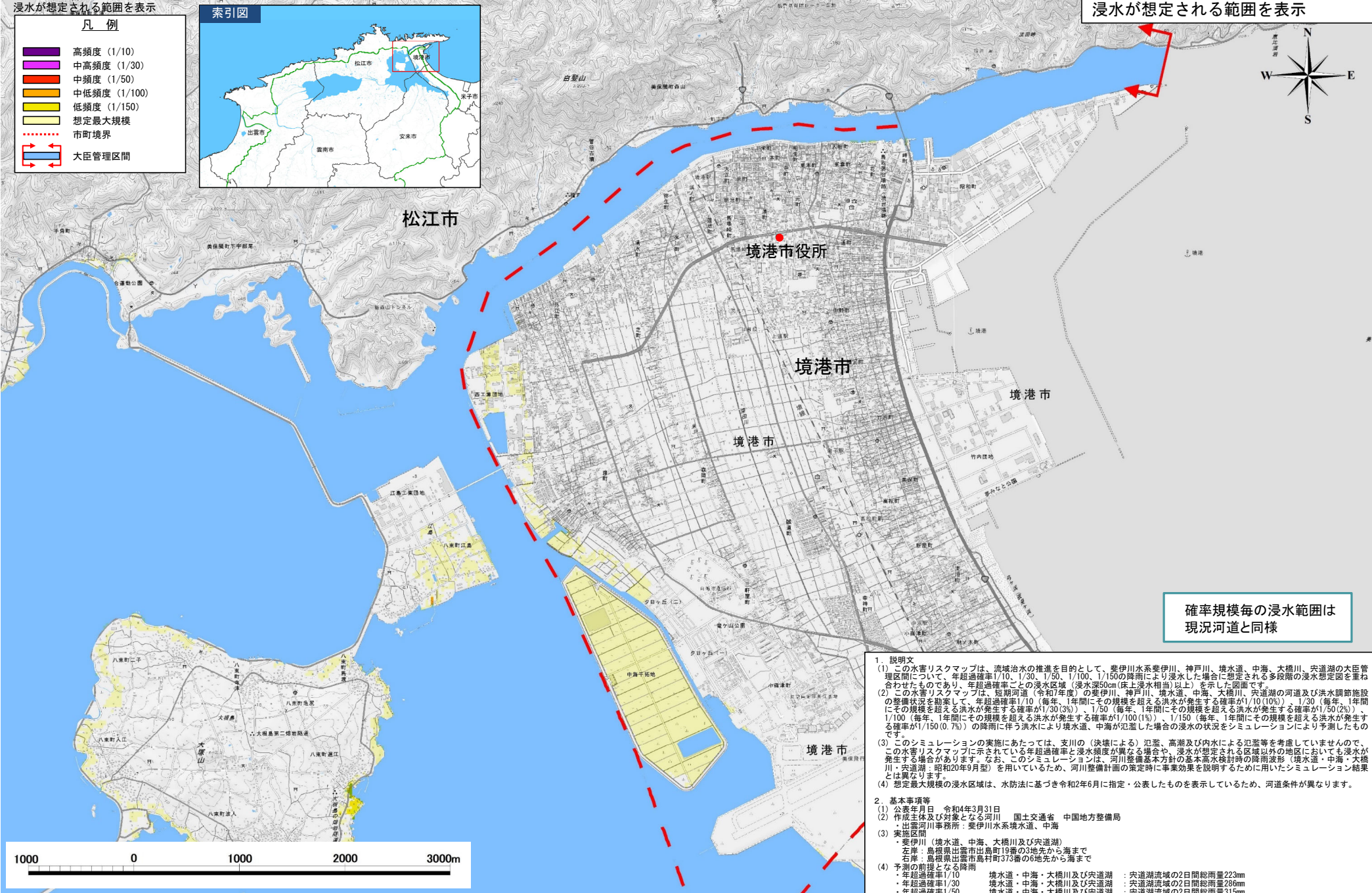
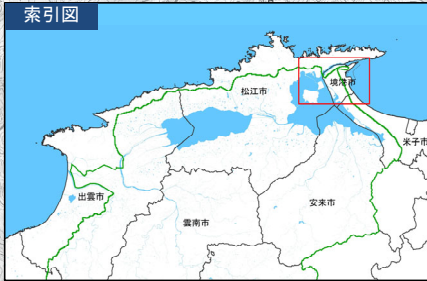


浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示

浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



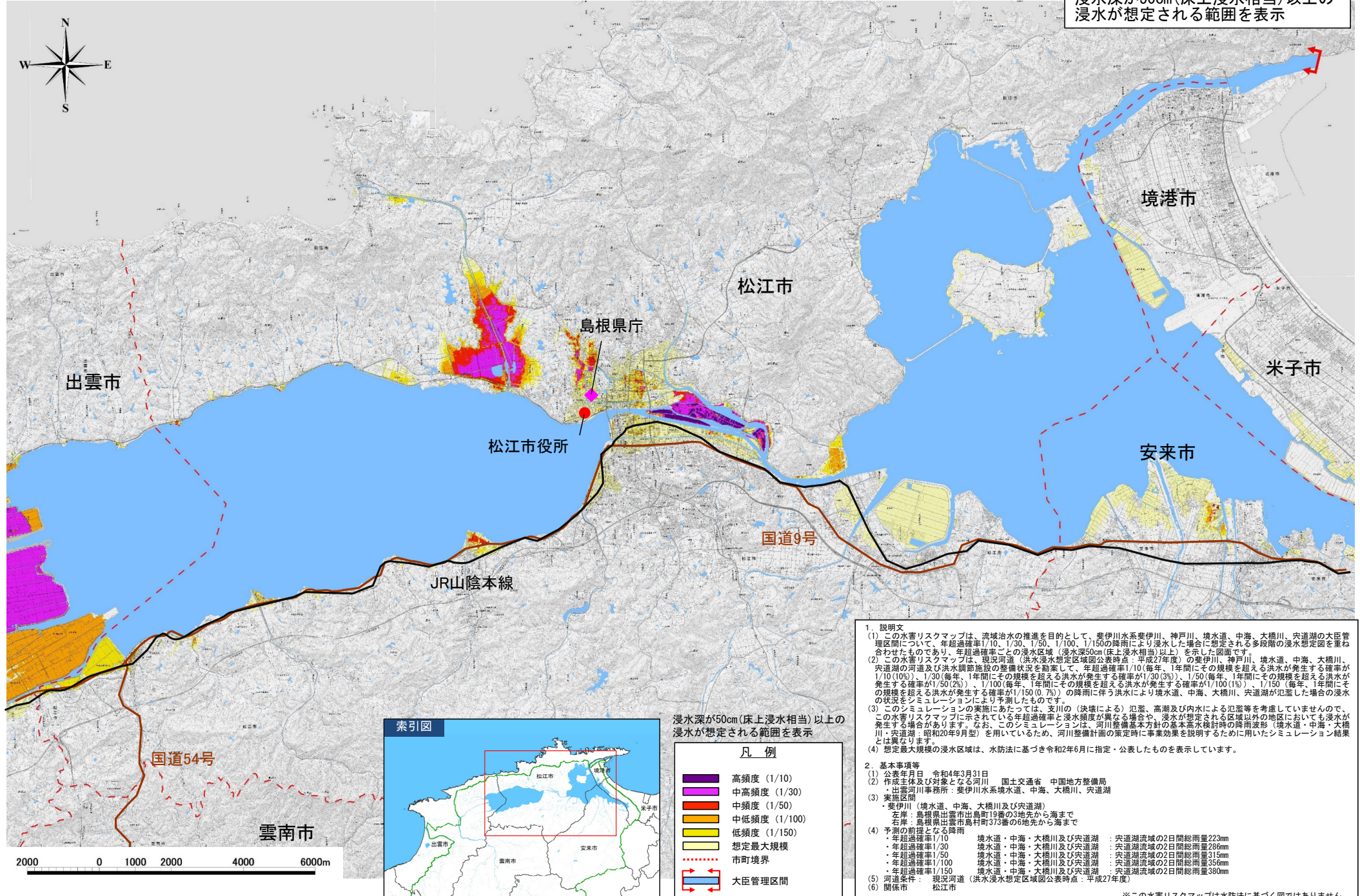
確率規模毎の浸水範囲は  
現況河道と同様

1. 説明文
    - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を示した図面です。
    - (2) この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により境水道、中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
    - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
    - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
  2. 基本事項等
    - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
    - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
      - ・ 出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海
    - (3) 実施区間
      - ・ 斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）
        - 左岸：島根県出雲市出雲町19番の3地先から海まで
        - 右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
    - (4) 予測の前堤となる降雨
 

境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量223mm	
年超過確率1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量289mm
年超過確率1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量315mm
年超過確率1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量359mm
年超過確率1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
年超過確率1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
    - (5) 河道条件：短期河道（令和7年度）
    - (6) 関係市 境港市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文
- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を表示した図面です。
  - この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により境水道、中海、大橋川、宍道湖が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖・昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。
2. 基本事項等
- 公表年月日 令和4年3月31日
  - 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海、大橋川、宍道湖
  - 実施区間  
・斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
  - 予測の前提となる降雨  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量206mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - 河道条件：現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）
  - 関係市 松江市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示

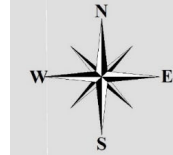
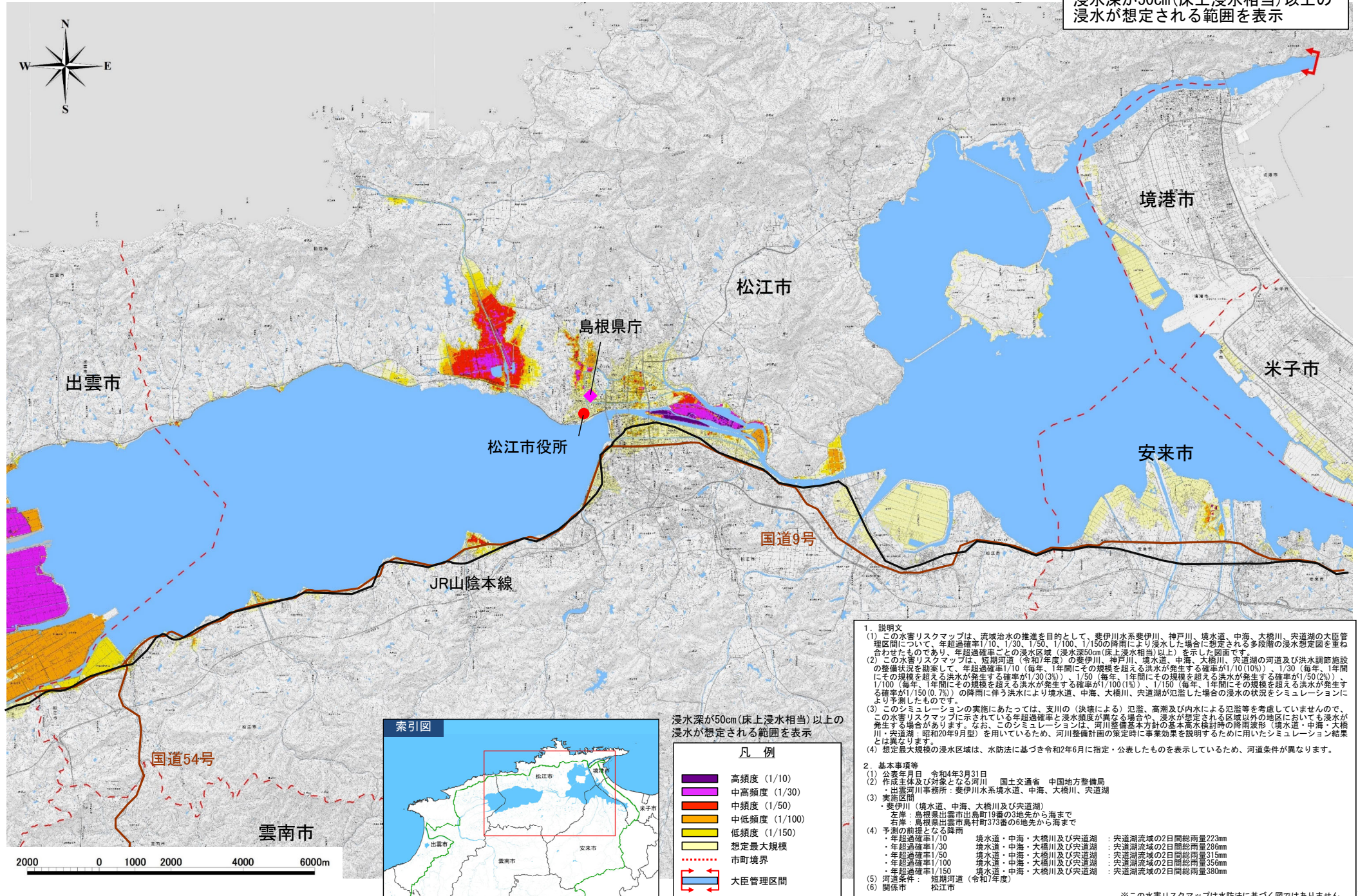
凡例

高頻度 (1/10)	高頻度 (1/30)	中頻度 (1/50)	中低頻度 (1/100)	低頻度 (1/150)	想定最大規模	市町境界	大臣管理区間
（紫）	（マゼンタ）	（オレンジ）	（黄色）	（薄黄色）	（白）	（赤点線）	（赤点線）





浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示



浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示

凡例

<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:purple;"></span>	高頻度 (1/10)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:magenta;"></span>	中高頻度 (1/30)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:orange;"></span>	中頻度 (1/50)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow;"></span>	中低頻度 (1/100)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightyellow;"></span>	低頻度 (1/150)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:1px solid black;"></span>	想定最大規模
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:1px dashed black;"></span>	市町境界
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:2px solid red;"></span>	大臣管理区間

1. 説明文
  - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により境水道、中海、大橋川、宍道湖が氾濫した際の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
  - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海、大橋川、宍道湖
3. 実施区間
  - ・斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）
  - 左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで
  - 右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
4. 予測の前提となる降雨
 

境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量223mm
・年超過確率1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖
・年超過確率1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖
・年超過確率1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖
・年超過確率1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖
・年超過確率1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖
5. 河道条件：短期河道（令和7年度）
6. 関係市 松江市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



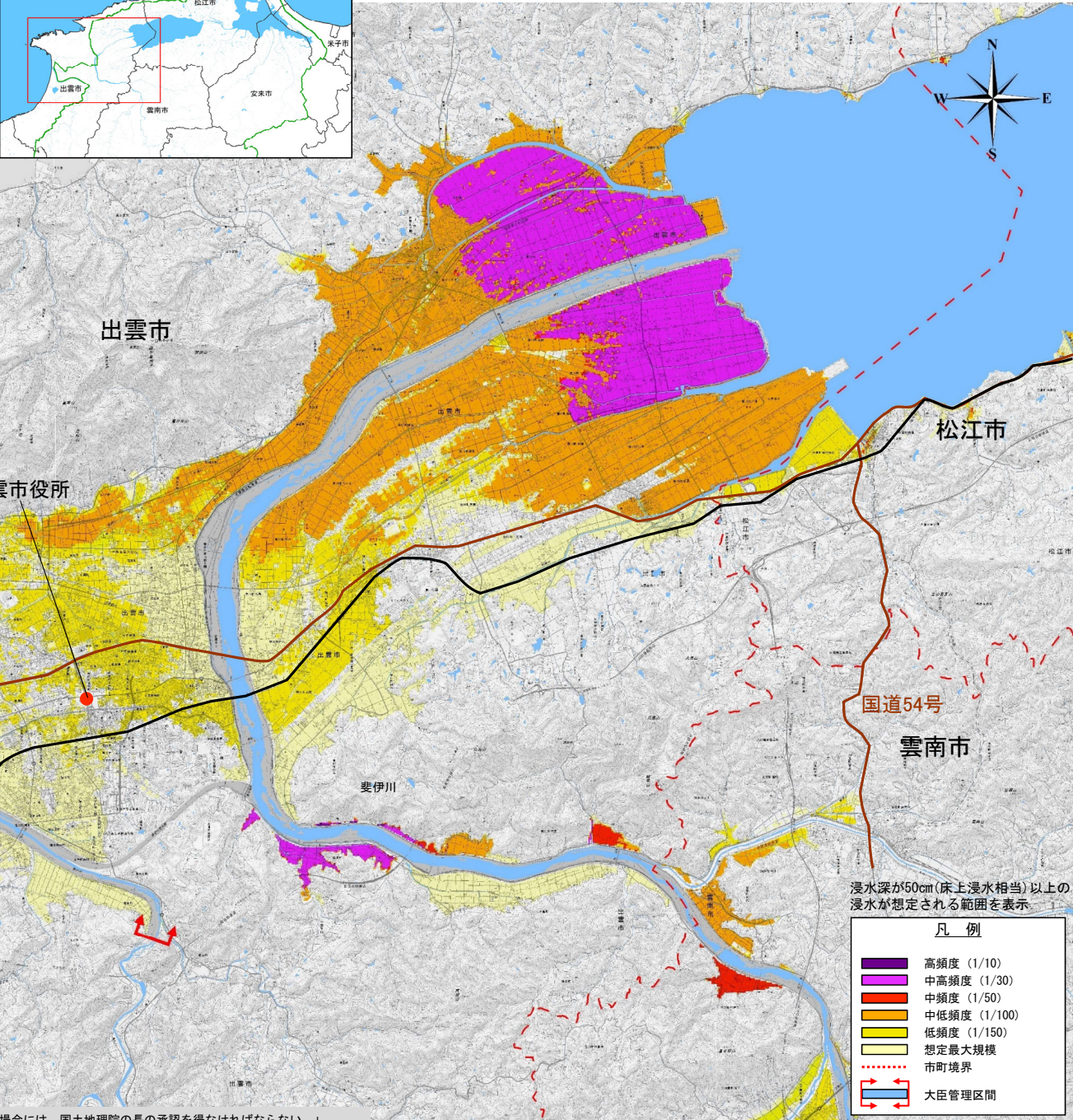
1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により斐伊川、神戸川、宍道湖が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（斐伊川：昭和40年7月型、神戸川：昭和18年9月型、境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。

2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年3月31日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
    - ・ 出雲河川事務所：斐伊川水系斐伊川、神戸川、宍道湖
  - (3) 実施区間
    - ・ 斐伊川
      - 左岸：島根県雲南市木次町下熊谷字自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで
      - 右岸：島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで
    - ・ 斐伊川（境水道・中海、大橋川及び宍道湖）
      - 左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで
      - 右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
    - ・ 神戸川
      - 左岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市西園町（河口）まで
      - 右岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市大社町漆原（河口）まで
  - (4) 予測の前提となる降雨
 

年超過確率1/10	斐伊川	斐伊川流域の2日間総雨量228mm
	神戸川	神戸川流域の2日間総雨量223mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量223mm
年超過確率1/30	斐伊川	斐伊川流域の2日間総雨量225mm
	神戸川	神戸川流域の2日間総雨量228mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量286mm
年超過確率1/50	斐伊川	斐伊川流域の2日間総雨量327mm
	神戸川	神戸川流域の2日間総雨量318mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量315mm
年超過確率1/100	斐伊川	斐伊川流域の2日間総雨量372mm
	神戸川	神戸川流域の2日間総雨量360mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量356mm
年超過確率1/150	斐伊川	斐伊川流域の2日間総雨量399mm
	神戸川	斐伊川流域の2日間総雨量388mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - (5) 河道条件： 現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）
  - (6) 関係市 出雲市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間





1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により斐伊川、神戸川、宍道湖が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（斐伊川：昭和40年7月型、神戸川：昭和18年9月型、境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

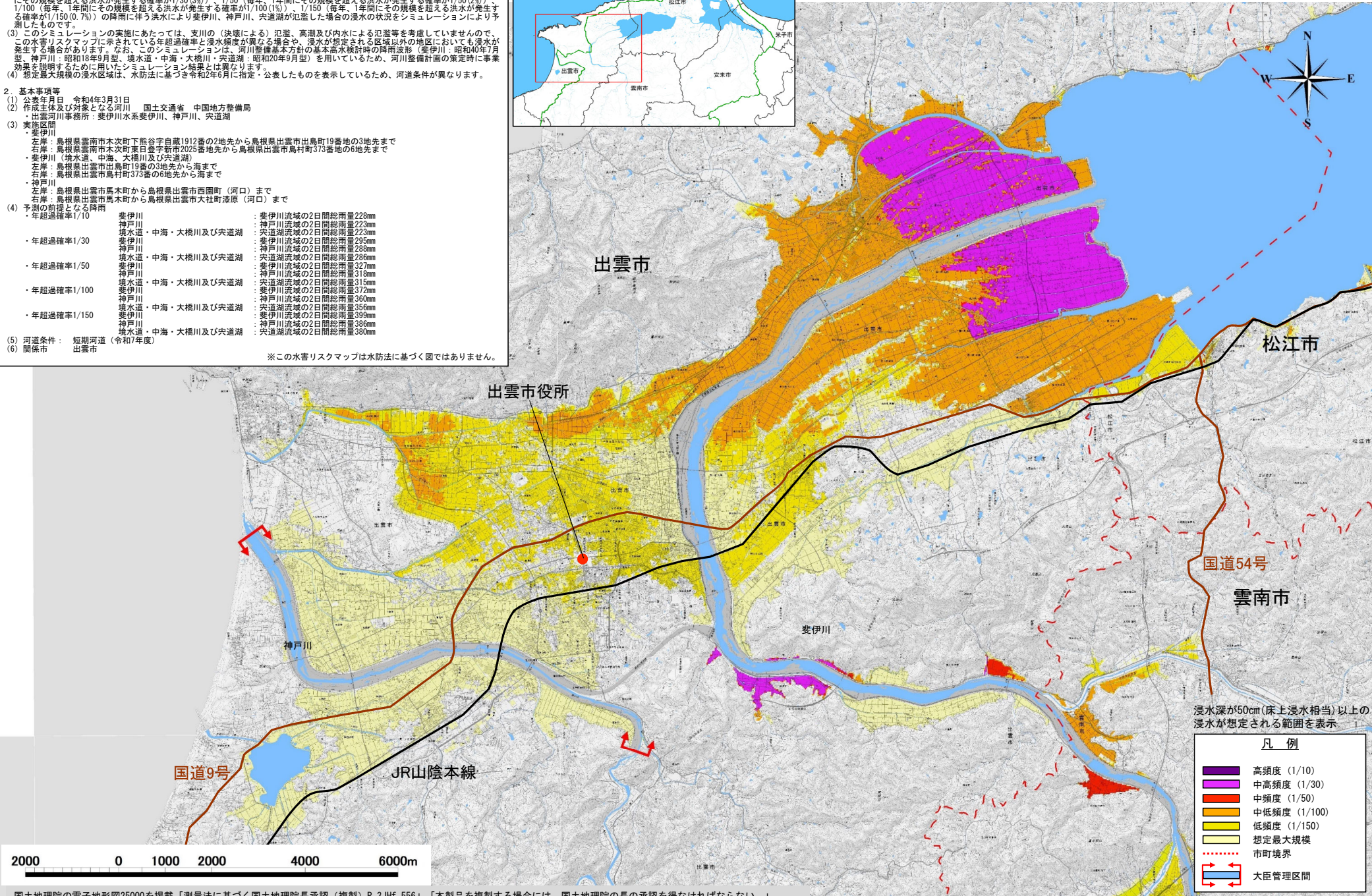
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年3月31日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
    - ・ 出雲河川事務所：斐伊川水系斐伊川、神戸川、宍道湖
  - (3) 実施区間
    - ・ 斐伊川
      - 左岸：島根県雲南市木次町下熊谷字自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで
      - 右岸：島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで
    - ・ 斐伊川（境水道・中海・大橋川及び宍道湖）
      - 左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで
      - 右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
    - ・ 神戸川
      - 左岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市西園町（河口）まで
      - 右岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市大社町漆原（河口）まで
  - (4) 予測の前提となる降雨
 

・ 年超過確率1/10	斐伊川 斐伊川流域の2日間総雨量228mm
	神戸川 神戸川流域の2日間総雨量223mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖 宍道湖流域の2日間総雨量223mm
・ 年超過確率1/30	斐伊川 斐伊川流域の2日間総雨量225mm
	神戸川 神戸川流域の2日間総雨量228mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖 宍道湖流域の2日間総雨量286mm
・ 年超過確率1/50	斐伊川 斐伊川流域の2日間総雨量327mm
	神戸川 神戸川流域の2日間総雨量318mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖 宍道湖流域の2日間総雨量315mm
・ 年超過確率1/100	斐伊川 斐伊川流域の2日間総雨量372mm
	神戸川 神戸川流域の2日間総雨量360mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖 宍道湖流域の2日間総雨量356mm
・ 年超過確率1/150	斐伊川 斐伊川流域の2日間総雨量399mm
	神戸川 神戸川流域の2日間総雨量388mm
	境水道・中海・大橋川及び宍道湖 宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - (5) 河道条件： 短期河道（令和7年度）
  - (6) 関係市 出雲市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



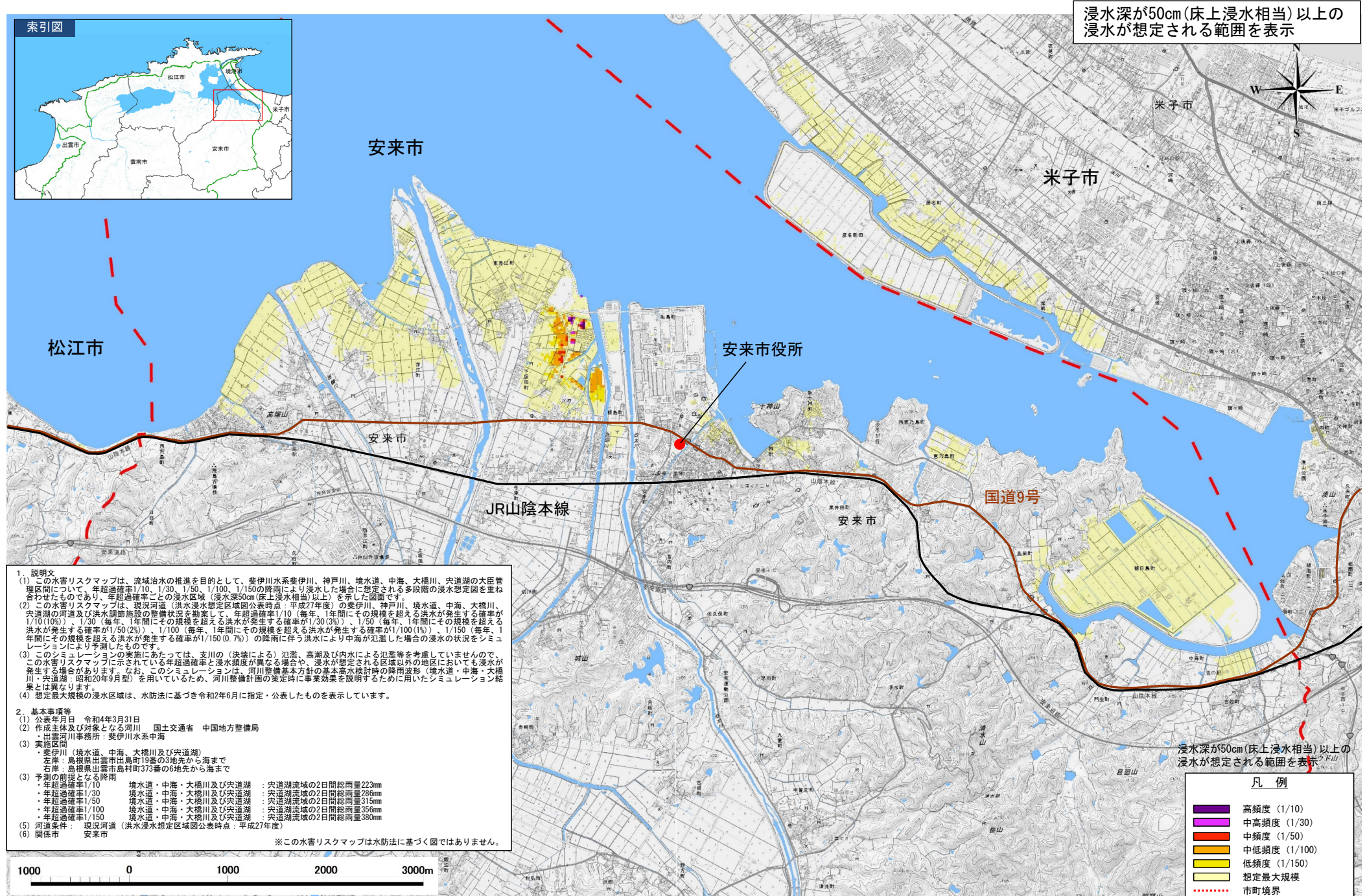
浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



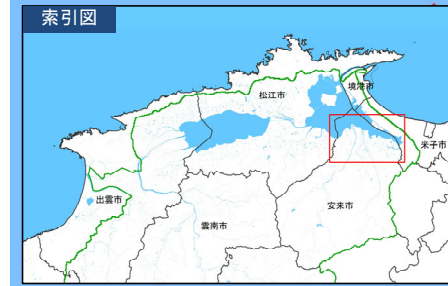
浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

- 凡例
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 低頻度 (1/150)
  - 想定最大規模
  - 市町境界
  - 大臣管理区間





浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



**1. 説明文**

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形状（現水道・中海・大橋川・宍道湖、昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。

(4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。

**2. 基本事項等**

(1) 公表年月日 令和4年3月31日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
 ・出雲河川事務所：斐伊川水系中海

(3) 実施区間  
 ・斐伊川（境水道・中海・大橋川及び宍道湖）  
 左岸：鳥根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
 右岸：鳥根県出雲市島村町373番の6地先から海まで

(3) 予測の前堤となる降雨  
 ・年超過確率1/10 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
 ・年超過確率1/30 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量286mm  
 ・年超過確率1/50 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
 ・年超過確率1/100 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm  
 ・年超過確率1/150 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm

(5) 河道条件：現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）

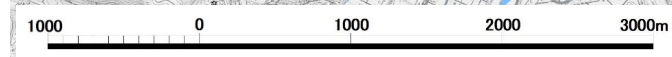
(6) 関係市 安来市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

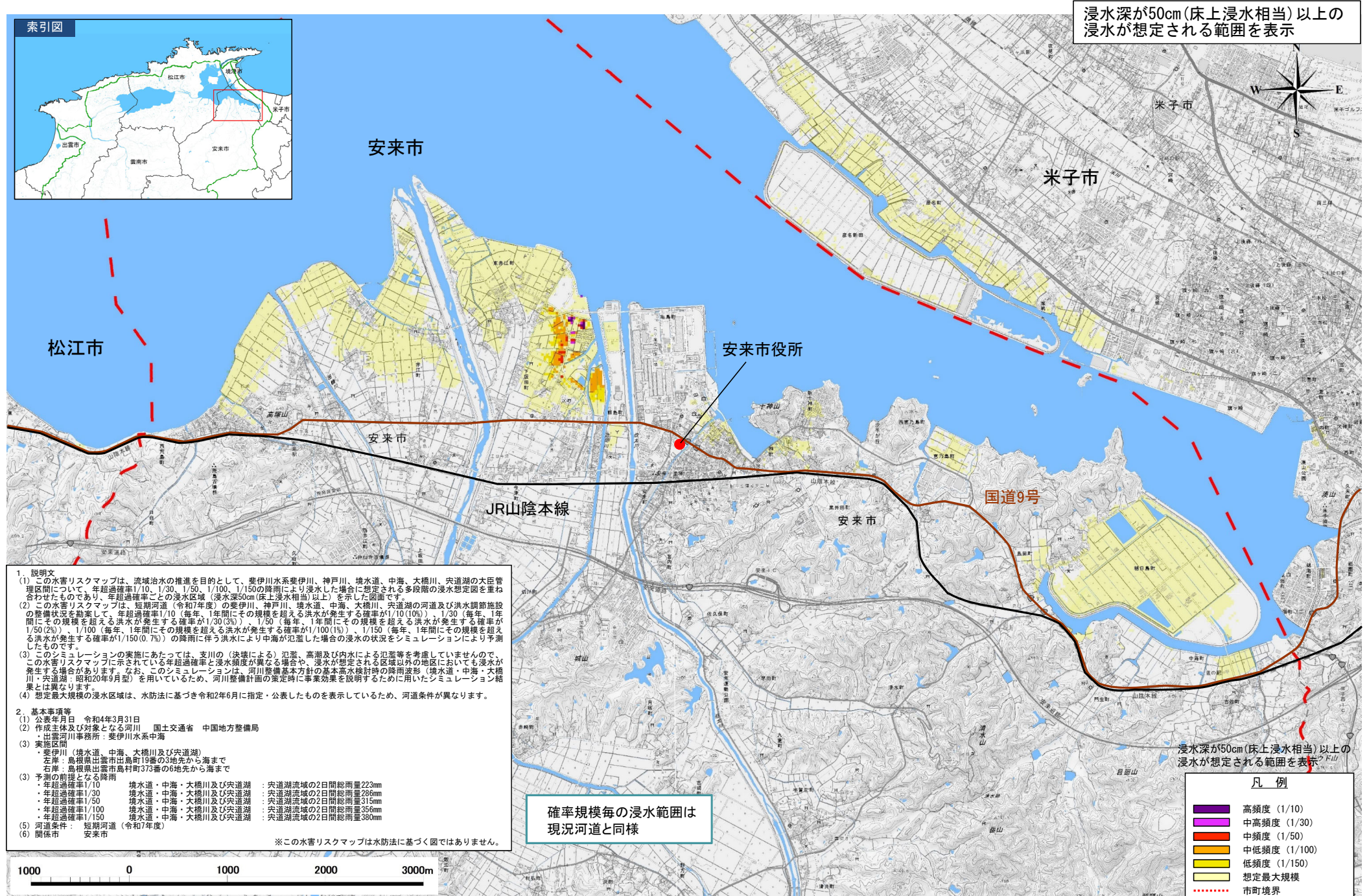
浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

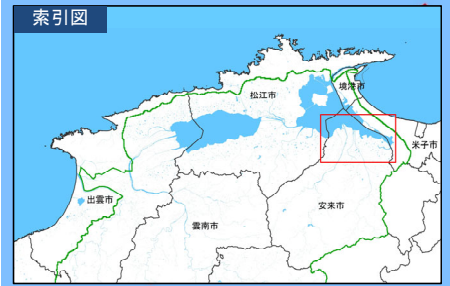
	高頻度 (1/10)
	中高頻度 (1/30)
	中低頻度 (1/50)
	中低頻度 (1/100)
	低頻度 (1/150)
	想定最大規模
	市町境界
	大臣管理区間







浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



**1. 説明文**

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の降雨基本計画（現水道・中海・大橋川・宍道湖、昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。

(4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

**2. 基本事項等**

(1) 公表年月日 令和4年3月31日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
 ・出雲河川事務所：斐伊川水系中海

(3) 実施区間  
 ・斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）  
 左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
 右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで

(3) 予測の前堤となる降雨  
 ・年超過確率1/10 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
 ・年超過確率1/30 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量286mm  
 ・年超過確率1/50 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
 ・年超過確率1/100 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm  
 ・年超過確率1/150 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm

(5) 河道条件：短期河道（令和7年度）

(6) 関係市 安来市

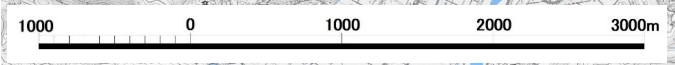
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

確率規模毎の浸水範囲は現況河道と同様

浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

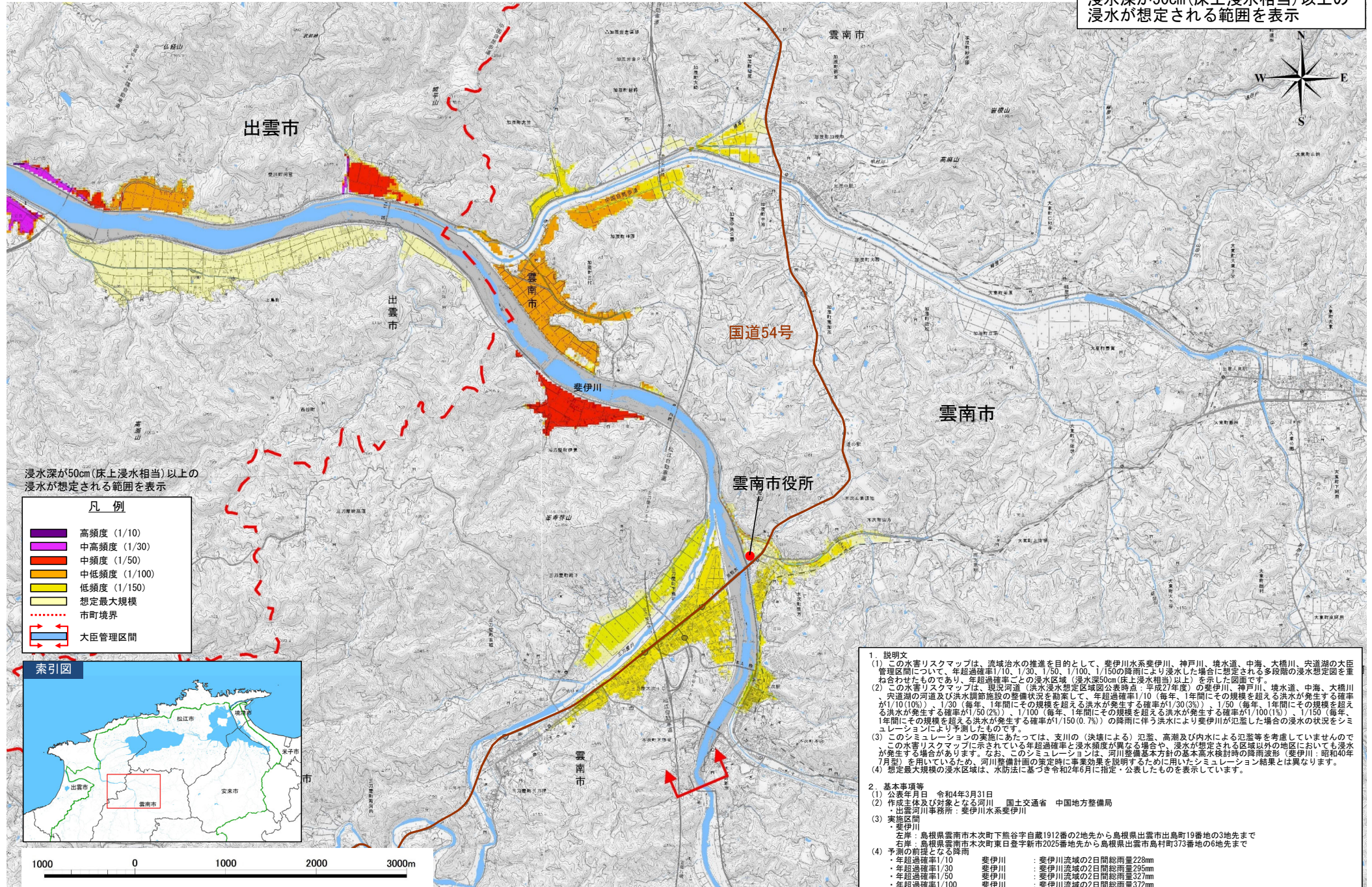
**凡例**

	高頻度 (1/10)
	中高頻度 (1/30)
	中頻度 (1/50)
	中低頻度 (1/100)
	低頻度 (1/150)
	想定最大規模
	市町境界
	大臣管理区間





浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



**1. 説明文**

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、現況河道(洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度)の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))、1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))、1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))、1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%))の降雨に伴う洪水により斐伊川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(斐伊川：昭和40年7月型)を用いているため、河川整備計画の策定時に基本高水を検討するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
- (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。

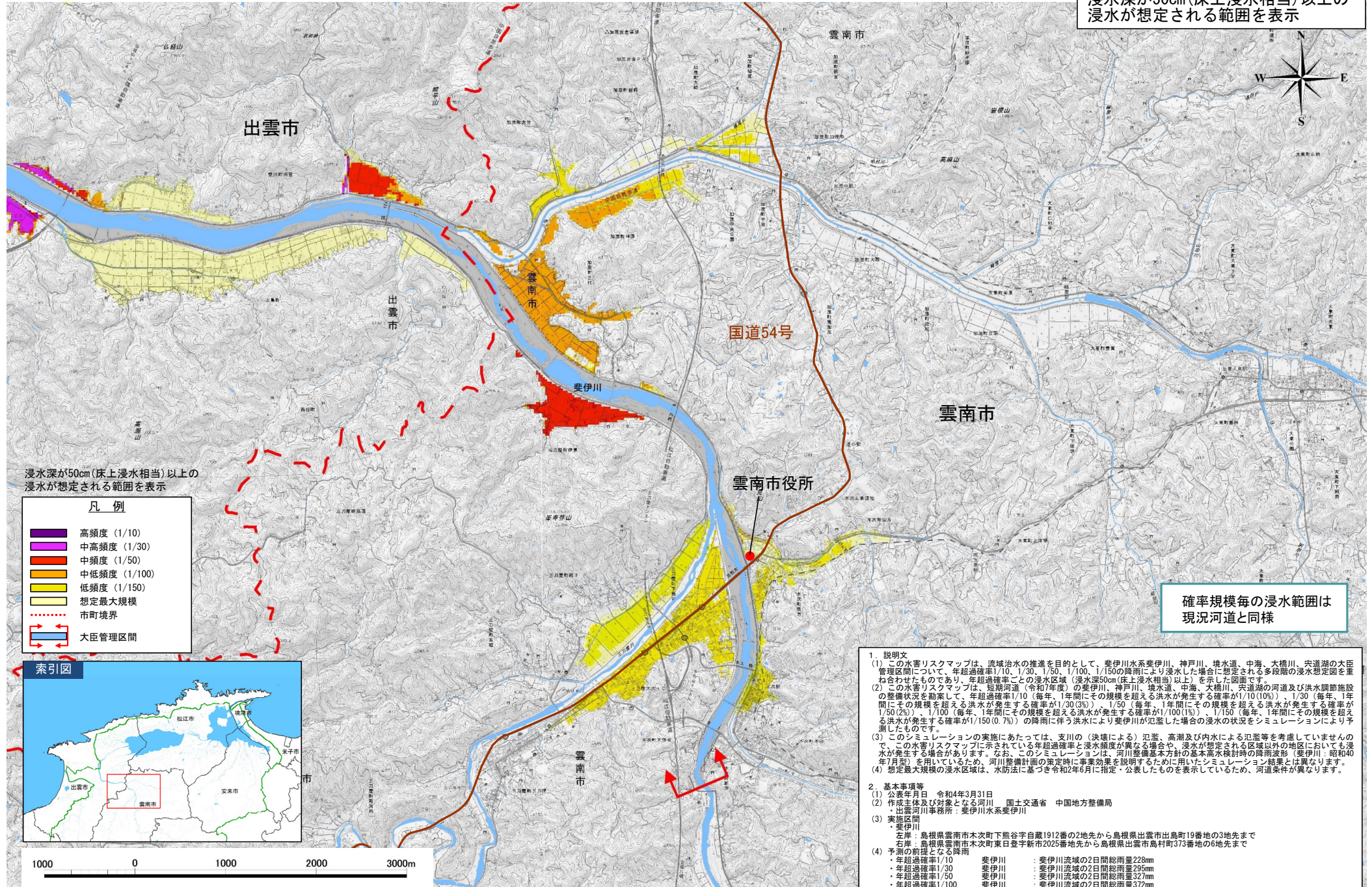
**2. 基本事項等**

- (1) 公表年月日 令和4年3月31日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
  - ・ 出雲河川事務所 斐伊川水系斐伊川
- (3) 実施区間
  - ・ 斐伊川
    - 左岸 島根県雲南市木次町下熊谷宇自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで
    - 右岸 島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで
- (4) 予測の前提となる降雨
  - ・ 年超過確率1/10 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量228mm
  - ・ 年超過確率1/30 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量295mm
  - ・ 年超過確率1/50 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量327mm
  - ・ 年超過確率1/100 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量372mm
  - ・ 年超過確率1/150 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量399mm
- (5) 河道条件: 現況河道(洪水浸水想定区域図公表時点:平成27年度)
- (6) 関係市 雲南市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



浸水深が50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



確率規模毎の浸水範囲は現況河道と同様

- 1. 説明文**
- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
  - この水害リスクマップは、短期河道(令和7年度)の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)、1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%))の降雨に伴う洪水により斐伊川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(斐伊川、昭和40年7月型)を用いているため、河川整備計画の策定時に基効果異を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
- 2. 基本事項等**
- 公表年月日 令和4年3月31日
  - 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
    - 出雲河川事務所 斐伊川水系斐伊川
  - 実施区間
    - 斐伊川
      - 左岸 島根県雲南市木次町下能谷自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで
      - 右岸 島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで
  - 予測の前提となる降雨
    - 年超過確率1/10 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量228mm
    - 年超過確率1/30 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量295mm
    - 年超過確率1/50 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量327mm
    - 年超過確率1/100 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量372mm
    - 年超過確率1/150 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量399mm
  - 河道条件: 短期河道(令和7年度)
  - 関係市 雲南市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



**浸水深が3m (1階居室浸水相当) 以上の  
浸水が想定される範囲**

---

浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

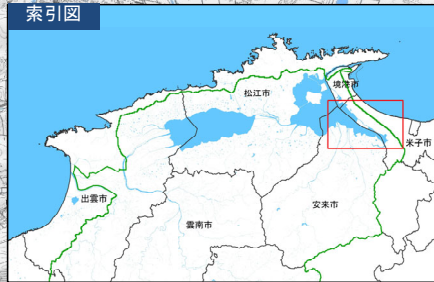
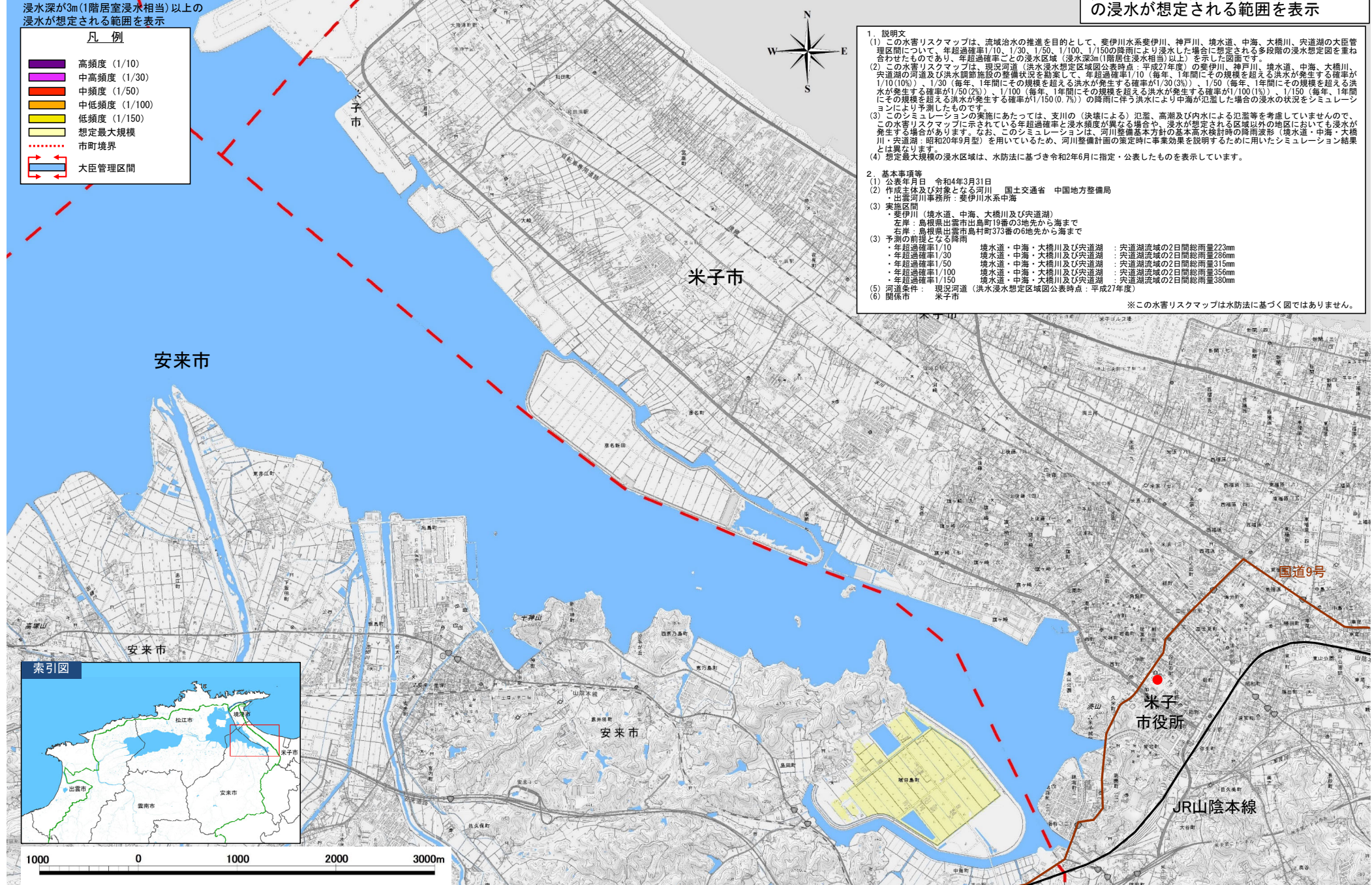
**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



1. 説明文
    - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域(浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上)を表示した図面です。
    - (2) この水害リスクマップは、現況河道(洪水浸水想定区域図公表時点、平成27年度)の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)、1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により中流が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーション)より予測したものです。
    - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型)を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
    - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。
  2. 基本事項等
    - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
    - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系中海
    - (3) 実施区間  
斐伊川(境水道、中海、大橋川及び宍道湖)  
左岸：鳥根島出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：鳥根島出雲市島村町373番の6地先から海まで
    - (3) 予測の前提となる降雨
 

境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総降雨223mm
・年超過確率1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖
・年超過確率1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖
・年超過確率1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖
・年超過確率1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖
・年超過確率1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖
    - (5) 河道条件：現況河道(洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度)
    - (6) 関係市 米子市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。





浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

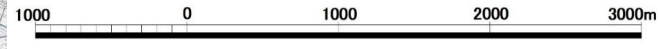
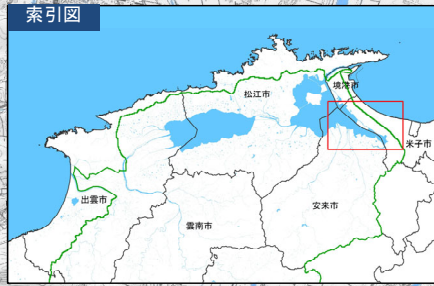
- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



1. 説明文
    - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域(浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
    - (2) この水害リスクマップは、短期河道(令和7年度)の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)、1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
    - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(洪水による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形状(境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型)を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
    - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
  2. 基本事項等
    - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
    - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系中海
    - (3) 実施区間  
・斐伊川(境水道、中海、大橋川及び宍道湖)  
左岸：高根原出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：鳥根原出雲市島村町373番の地先から海まで
    - (3) 予測の前提となる降雨
 

・年超過確率1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	：宍道湖流域の2日間総雨量223mm
・年超過確率1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	：宍道湖流域の2日間総雨量296mm
・年超過確率1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	：宍道湖流域の2日間総雨量315mm
・年超過確率1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	：宍道湖流域の2日間総雨量356mm
・年超過確率1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
    - (5) 河道条件：短期河道(令和7年度)
    - (6) 関係市 米子市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

確率規模毎の浸水範囲は現況河道と同様



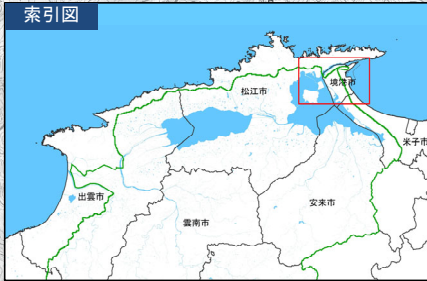


浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



1. 説明文
  - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深3m(1階居室浸水相当)以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により境水道、中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。
2. 基本事項等
  - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
    - ・ 出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海
  - (3) 実施区間
    - ・ 斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）
    - 左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで
    - 右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
  - (4) 予測の前堤となる降雨
 

年超過確率	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量
1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量223mm
1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量289mm
1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量315mm
1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量359mm
1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - (5) 河道条件：現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）
  - (6) 関係市 境港市

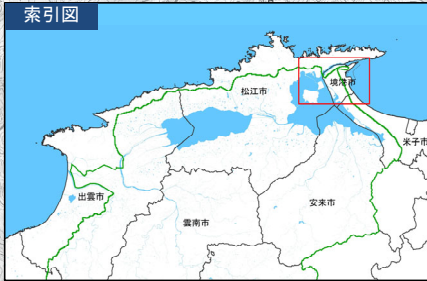


浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示

浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

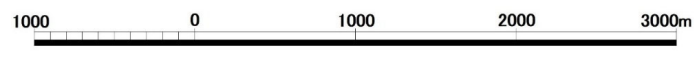
- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



確率規模毎の浸水範囲は  
現況河道と同様

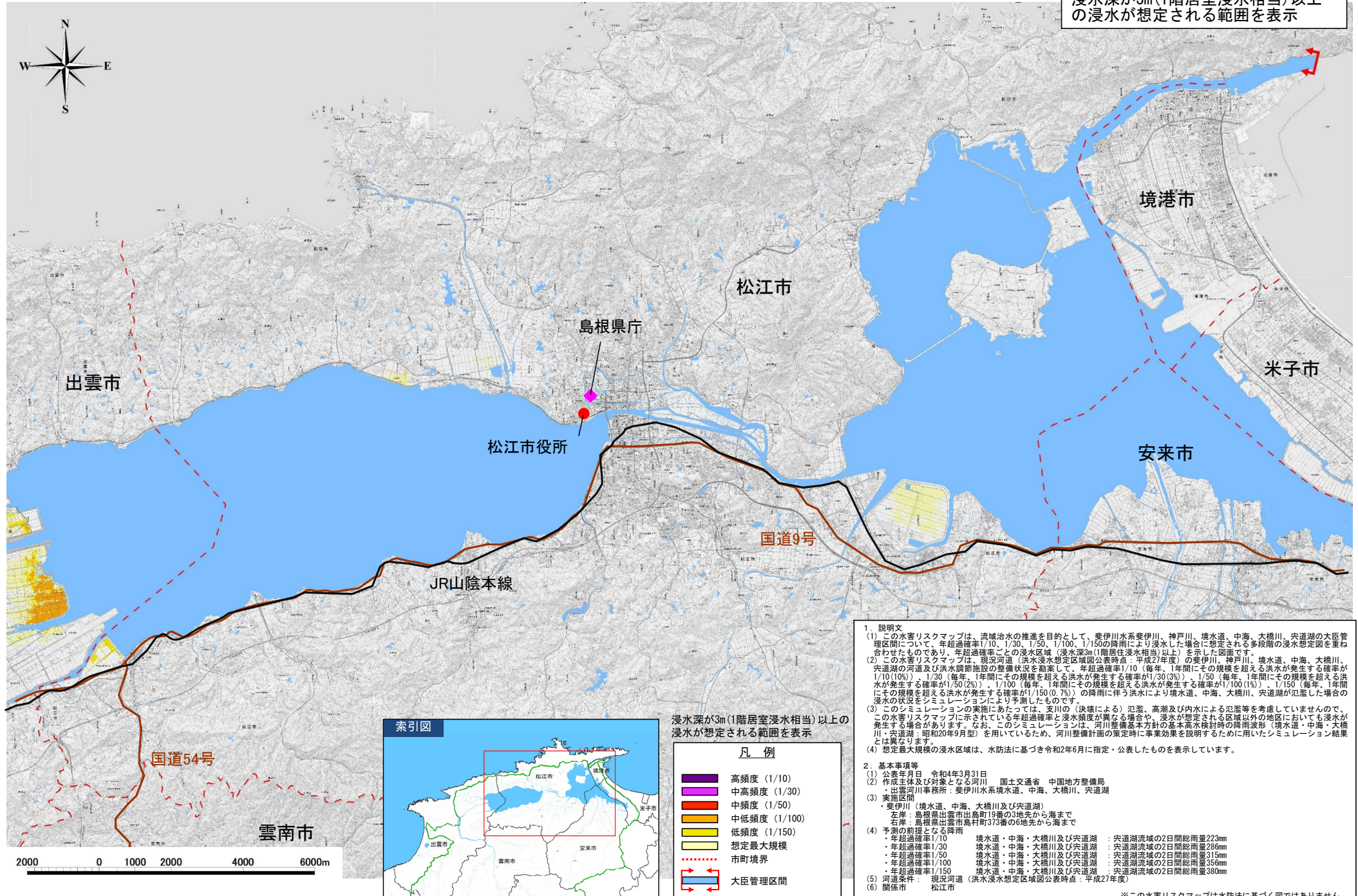
1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深3m(1階居室浸水相当)以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、短期河道（令和1年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により境水道、中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年3月31日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
    - ・出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海
  - (3) 実施区間
    - ・斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）
    - 左岸：島根県出雲市出雲町19番の3地先から海まで
    - 右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
  - (4) 予測の前堤となる降雨
 

境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量223mm	
年超過確率1/10	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量289mm
年超過確率1/30	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量315mm
年超過確率1/50	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量359mm
年超過確率1/100	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
年超過確率1/150	境水道・中海・大橋川及び宍道湖	宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - (5) 河道条件：短期河道（令和1年度）
  - (6) 関係市 境港市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。





浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

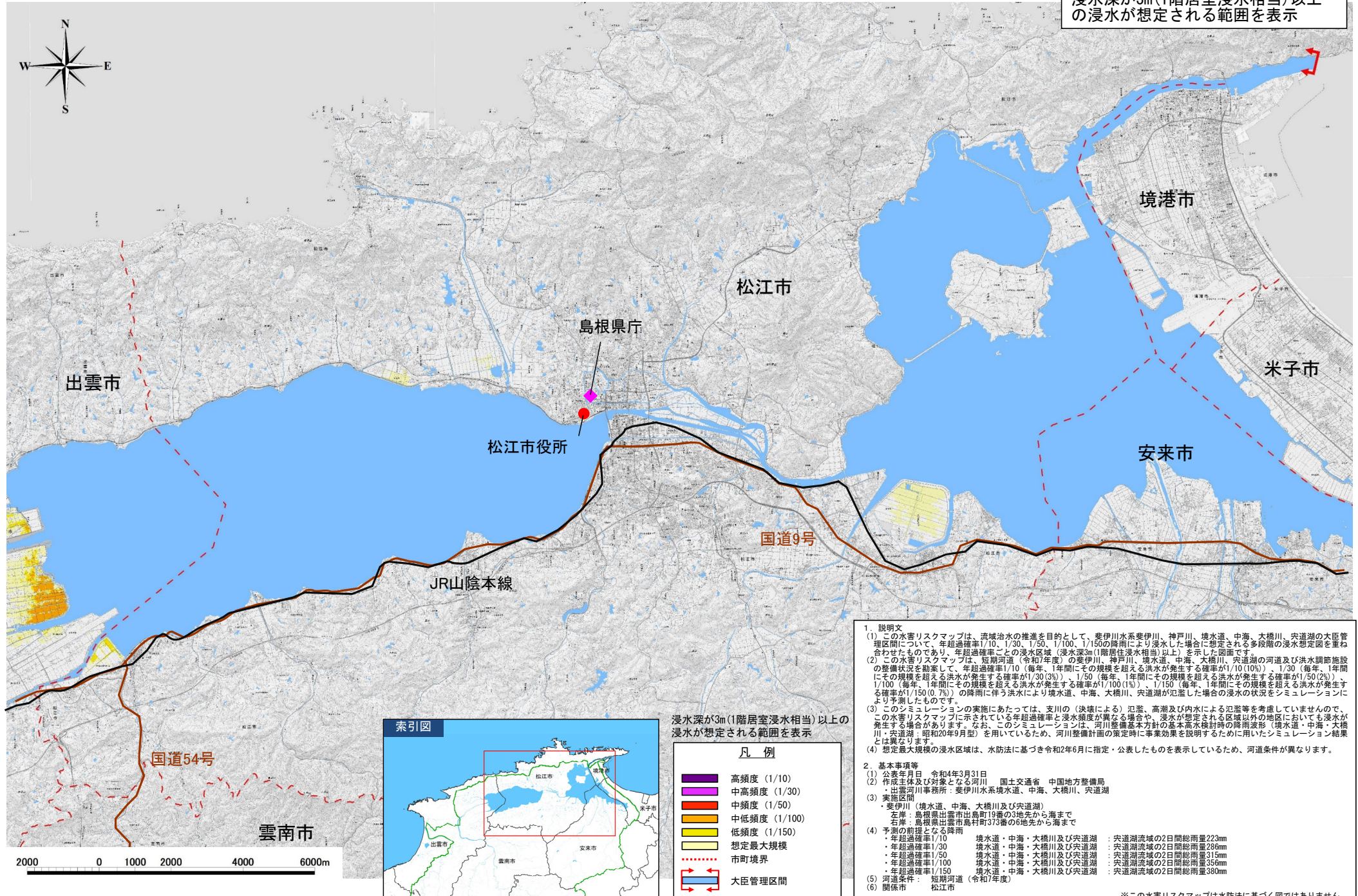
凡例

	高頻度 (1/10)
	中高頻度 (1/30)
	中頻度 (1/50)
	中低頻度 (1/100)
	低頻度 (1/150)
	想定最大規模
	市町境界
	大臣管理区間

1. 説明文
    - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深3m(1階居室浸水相当)以上）を示した図面です。
    - (2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により境水道、中海、大橋川、宍道湖が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
    - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
    - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。
  2. 基本事項等
    - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
    - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海、大橋川、宍道湖
    - (3) 実施区間  
・斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
    - (4) 予測の前提となる降雨  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量206mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - (5) 河道条件：現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）
  - (6) 関係市 松江市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

凡例

	高頻度 (1/10)
	中高頻度 (1/30)
	中頻度 (1/50)
	中低頻度 (1/100)
	低頻度 (1/150)
	想定最大規模
	市町境界
	大臣管理区間

1. 説明文
    - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深3m(1階居室浸水相当)以上）を示した図面です。
    - (2) この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により境水道、中海、大橋川、宍道湖が氾濫した際の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
    - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（境水道・中海・大橋川・宍道湖・昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
    - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
  2. 基本事項等
    - (1) 公表年月日 令和4年3月31日
    - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系境水道、中海、大橋川、宍道湖
    - (3) 実施区間  
・斐伊川（境水道、中海、大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
    - (4) 予測の前提となる降雨  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量206mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - (5) 河道条件：短期河道（令和7年度）
  - (6) 関係市 松江市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

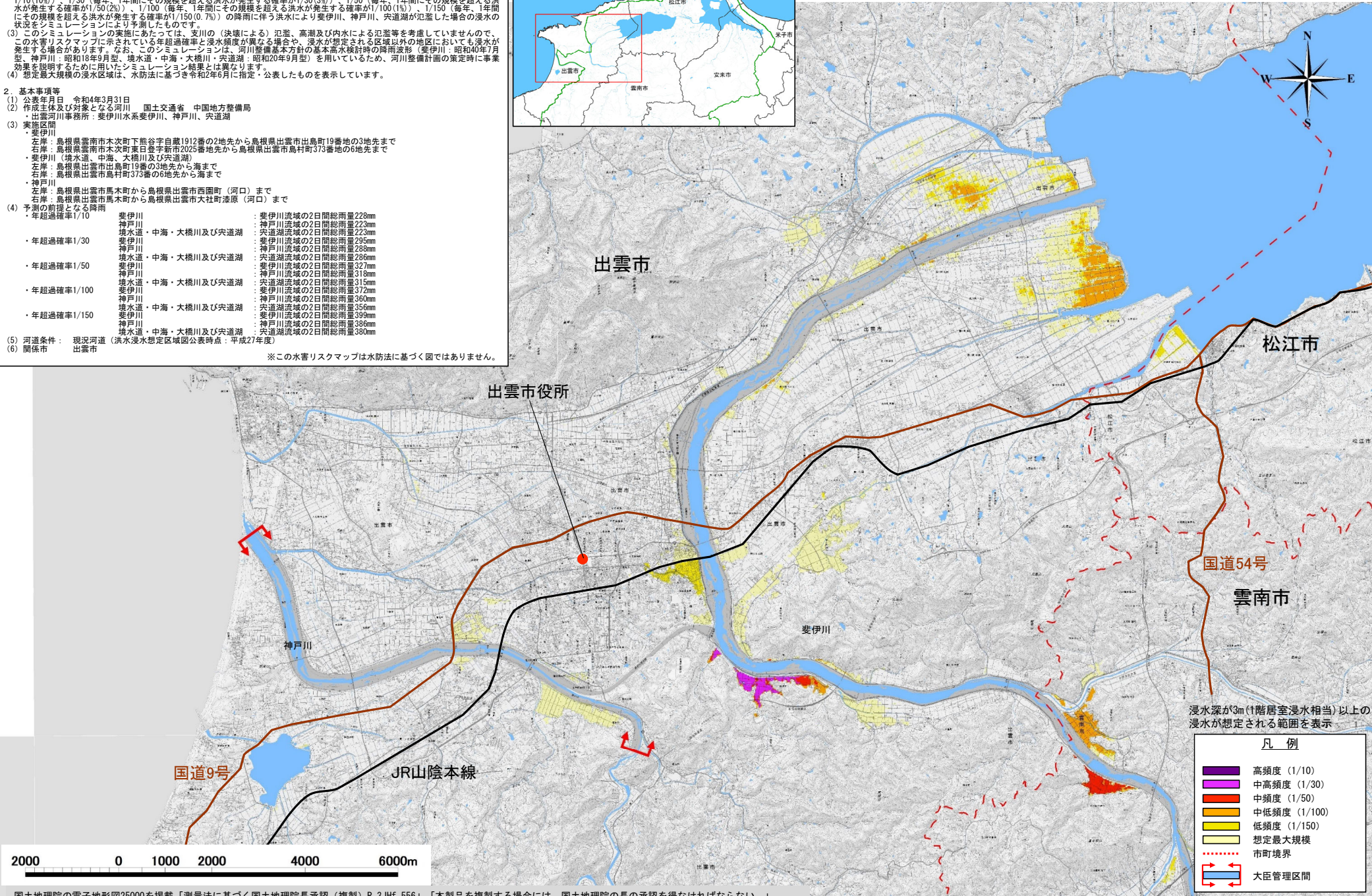


1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深3m(1階居室浸水相当)以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により斐伊川、神戸川、宍道湖が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（流域による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合は、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（斐伊川：昭和40年7月型、神戸川：昭和18年9月型、境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。

2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年3月31日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系斐伊川、神戸川、宍道湖
  - (3) 実施区間  
・斐伊川  
左岸：島根県雲南市木次町下熊谷字自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで  
右岸：島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで  
・斐伊川（境水道・中海、大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで  
・神戸川  
左岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市西園町（河口）まで  
右岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市大社町漆原（河口）まで
  - (4) 予測の前提となる降雨  
・年超過確率1/10  
斐伊川：斐伊川流域の2日間総雨量228mm  
神戸川：神戸川流域の2日間総雨量223mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
・年超過確率1/30  
斐伊川：斐伊川流域の2日間総雨量225mm  
神戸川：神戸川流域の2日間総雨量228mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量286mm  
・年超過確率1/50  
斐伊川：斐伊川流域の2日間総雨量327mm  
神戸川：神戸川流域の2日間総雨量318mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
・年超過確率1/100  
斐伊川：斐伊川流域の2日間総雨量372mm  
神戸川：神戸川流域の2日間総雨量360mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm  
・年超過確率1/150  
斐伊川：斐伊川流域の2日間総雨量399mm  
神戸川：神戸川流域の2日間総雨量388mm  
境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - (5) 河道条件： 現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）
  - (6) 関係市 出雲市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

凡例

	高頻度 (1/10)
	中高頻度 (1/30)
	中頻度 (1/50)
	中低頻度 (1/100)
	低頻度 (1/150)
	想定最大規模
	市町境界
	大臣管理区間



1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水深度が異なる場合は、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨形状（斐伊川：昭和40年7月型、神戸川：昭和18年9月型、境水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

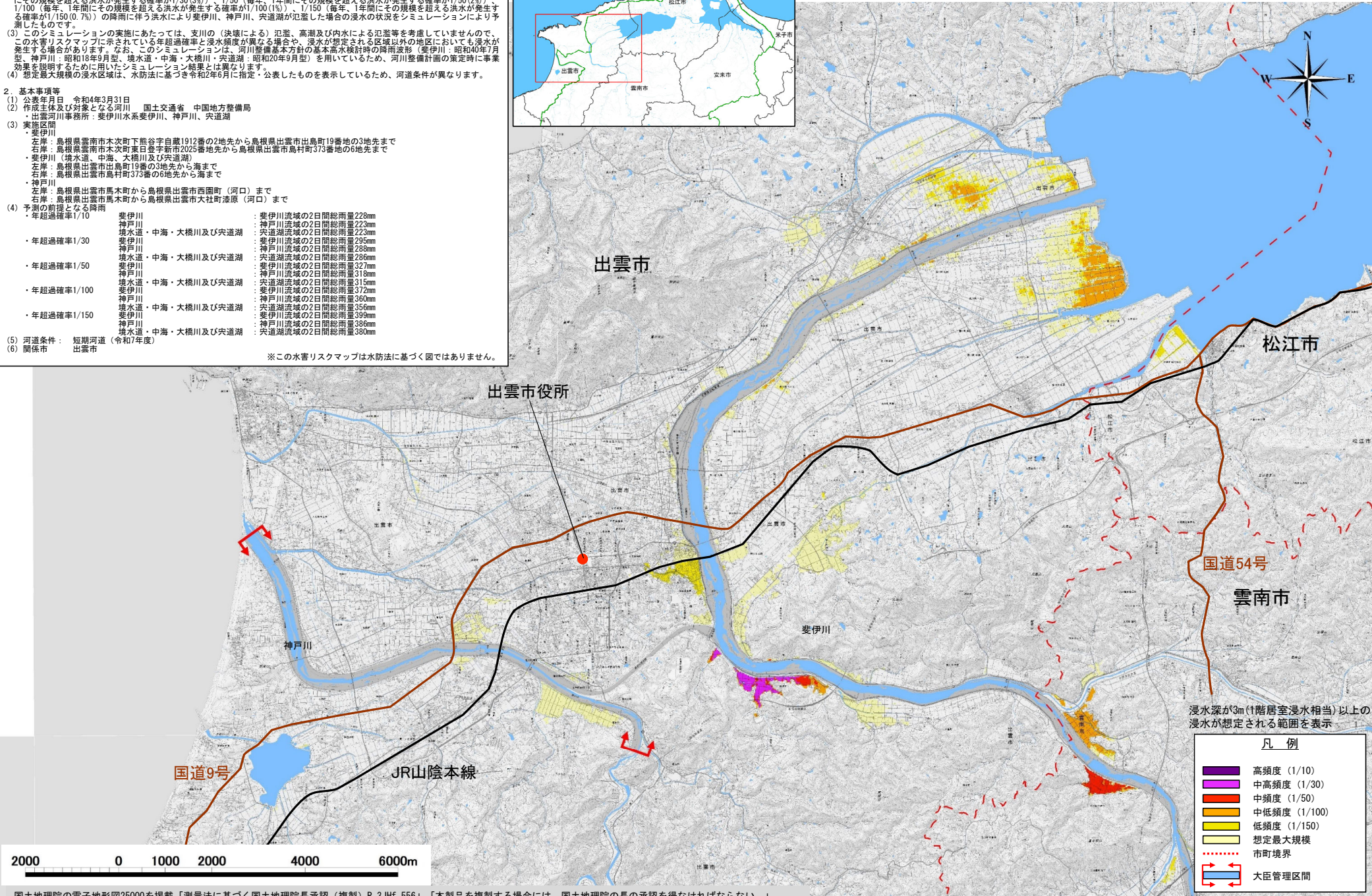
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年3月31日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
出雲河川事務所：斐伊川水系斐伊川、神戸川、宍道湖
  - (3) 実施区間  
・斐伊川  
左岸：島根県雲南市木次町下熊谷字自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで  
右岸：島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで  
・斐伊川（境水道・中海、大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで  
・神戸川  
左岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市西園町（河口）まで  
右岸：島根県出雲市馬木町から島根県出雲市大社町漆原（河口）まで
  - (4) 予測の前提となる降雨  

年超過確率1/10	斐伊川流域の2日間総雨量228mm
年超過確率1/30	斐伊川流域の2日間総雨量223mm
年超過確率1/50	斐伊川流域の2日間総雨量223mm
年超過確率1/100	斐伊川流域の2日間総雨量228mm
年超過確率1/150	斐伊川流域の2日間総雨量286mm
	斐伊川流域の2日間総雨量327mm
	斐伊川流域の2日間総雨量318mm
	斐伊川流域の2日間総雨量315mm
	斐伊川流域の2日間総雨量372mm
	斐伊川流域の2日間総雨量360mm
	斐伊川流域の2日間総雨量356mm
	斐伊川流域の2日間総雨量399mm
	斐伊川流域の2日間総雨量386mm
	斐伊川流域の2日間総雨量380mm
  - (5) 河道条件：短期河道（令和7年度）
  - (6) 関係市 出雲市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



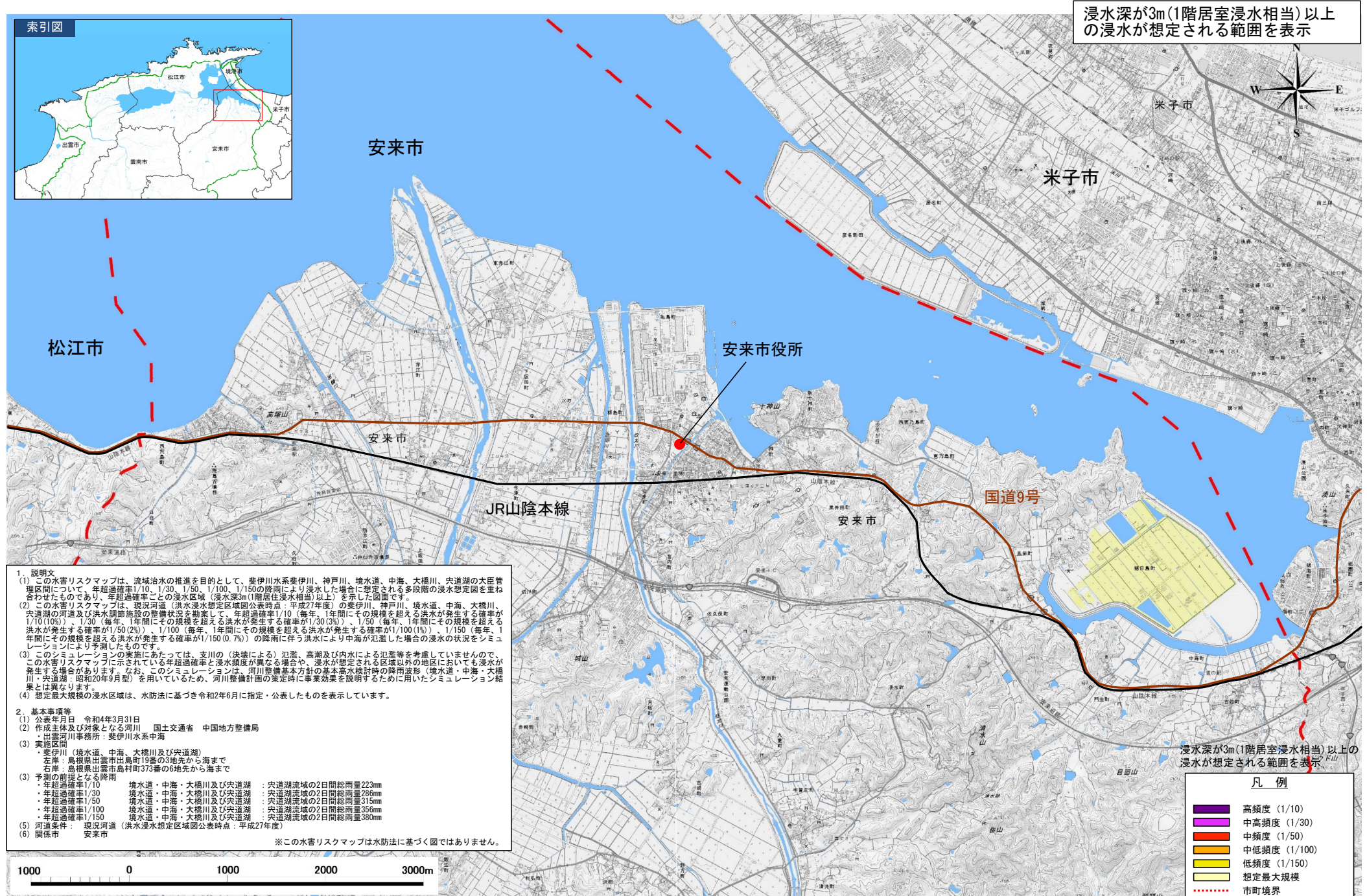
浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



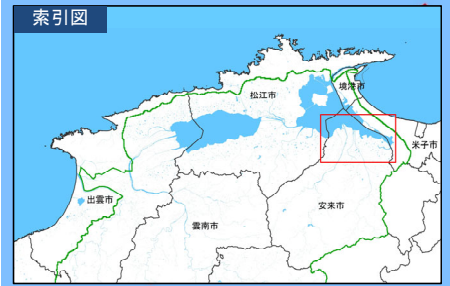
浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

- 凡例
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 低頻度 (1/150)
  - 想定最大規模
  - 市町境界
  - 大臣管理区間





浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



**1. 説明文**

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深3m(1階居室浸水相当)以上）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形状（現水道・中海・大橋川・宍道湖：昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。

(4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。

**2. 基本事項等**

(1) 公表年月日 令和4年3月31日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
 ・出雲河川事務所：斐伊川水系中海

(3) 実施区間  
 ・斐伊川（境水道・中海・大橋川及び宍道湖）  
 左岸：鳥根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
 右岸：鳥根県出雲市島村町373番の6地先から海まで

(3) 予測の前提となる降雨  
 ・年超過確率1/10 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
 ・年超過確率1/30 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量286mm  
 ・年超過確率1/50 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
 ・年超過確率1/100 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm  
 ・年超過確率1/150 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm

(5) 河道条件：現況河道（洪水浸水想定区域公表時点：平成27年度）

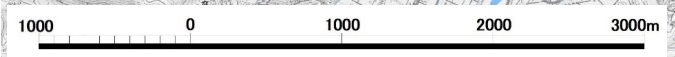
(6) 関係市 安来市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

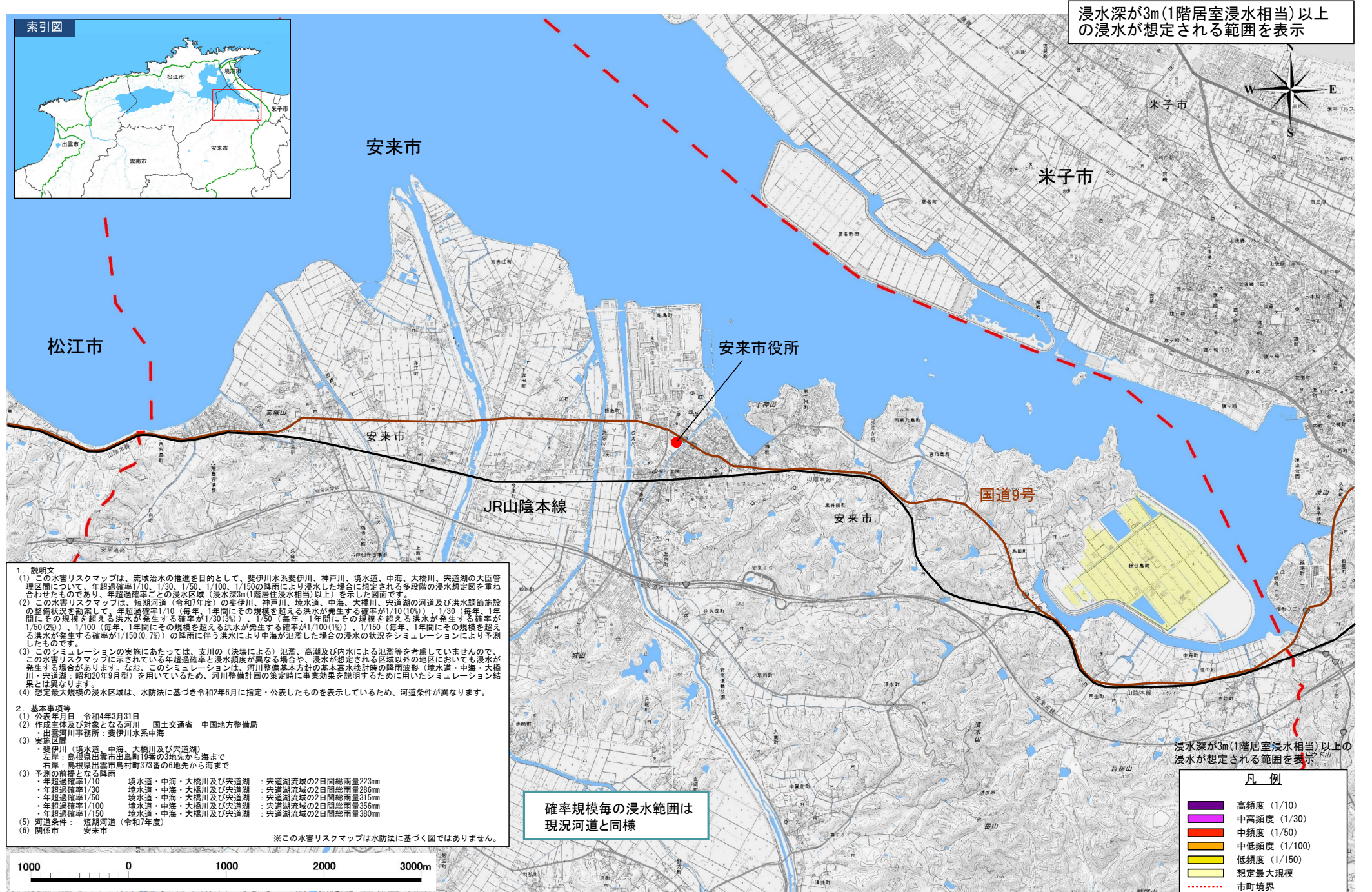
浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

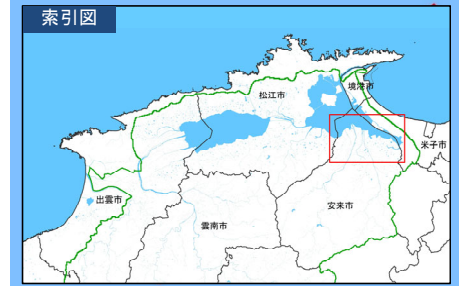
	高頻度 (1/10)
	中高頻度 (1/30)
	中頻度 (1/50)
	中低頻度 (1/100)
	低頻度 (1/150)
	想定最大規模
	市町境界
	大臣管理区間







浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

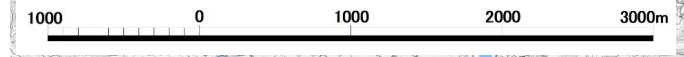


- 1. 説明文**
- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深3m(1階居室浸水相当)以上）を示した図面です。
  - この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により中海が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形状（現水道・中海・大橋川・宍道湖、昭和20年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
- 2. 基本事項等**
- 公表年月日 令和4年3月31日
  - 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
・出雲河川事務所：斐伊川水系中海
  - 実施区間  
・斐伊川（境水道・中海・大橋川及び宍道湖）  
左岸：島根県出雲市出島町19番の3地先から海まで  
右岸：島根県出雲市島村町373番の6地先から海まで
  - 予測の前堤となる降雨  
・年超過確率1/10 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量223mm  
・年超過確率1/30 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量286mm  
・年超過確率1/50 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量315mm  
・年超過確率1/100 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量356mm  
・年超過確率1/150 境水道・中海・大橋川及び宍道湖：宍道湖流域の2日間総雨量380mm
  - 河道条件：短期河道（令和7年度）
  - 関係市 安来市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

確率規模毎の浸水範囲は現況河道と同様

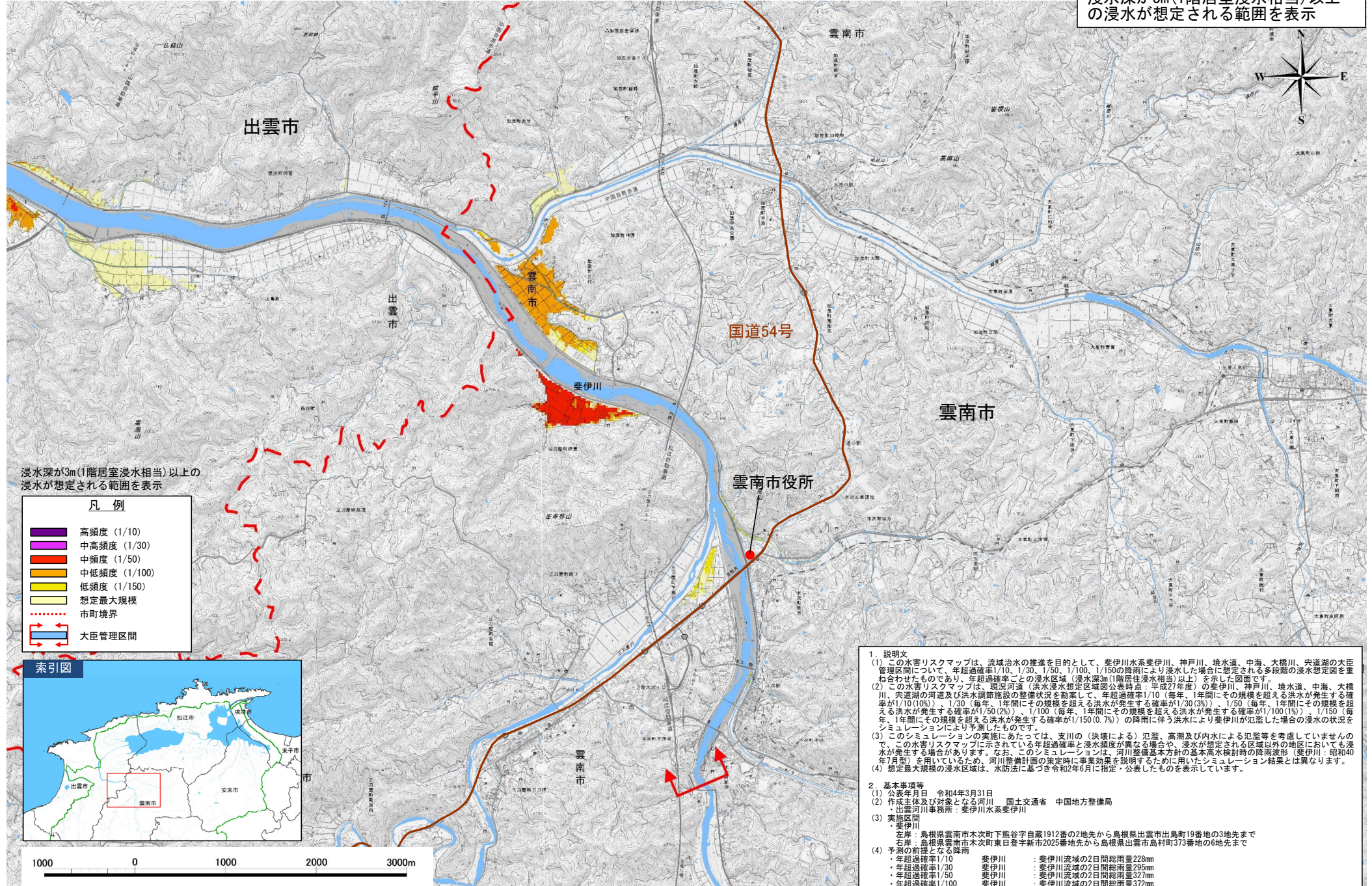
**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間





浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

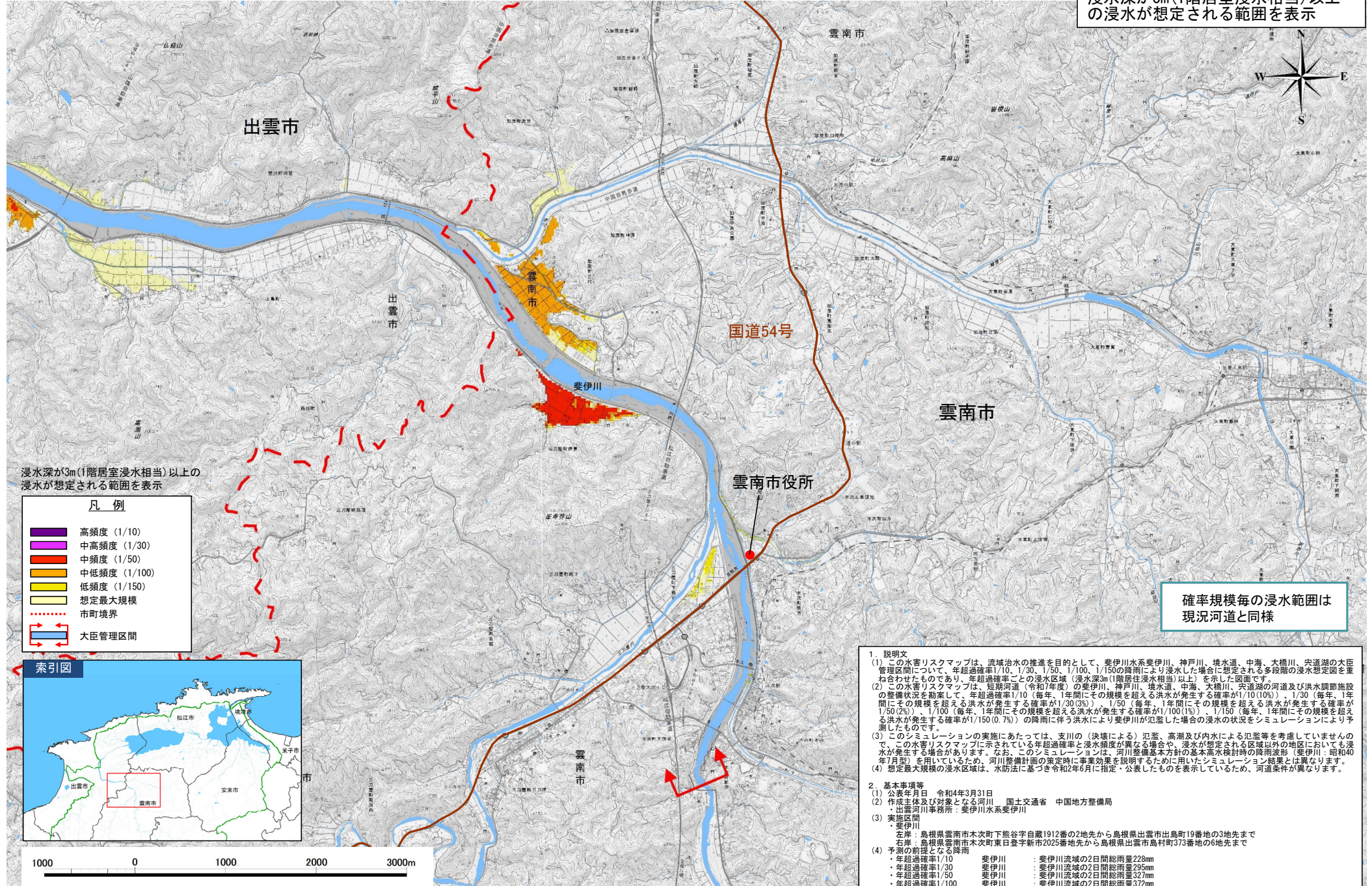
- 凡例**
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 低頻度 (1/150)
  - 想定最大規模
  - 市町境界
  - 大臣管理区間



- 1. 説明文**
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深が1階居室浸水相当以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により斐伊川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（斐伊川：昭和40年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に基拠物異を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なります。
  - (4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しています。
- 2. 基本事項等**
- (1) 公表年月日 令和4年3月31日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局
    - ・ 出雲河川事務所 斐伊川水系斐伊川
  - (3) 実施区間
    - ・ 斐伊川
      - 左岸 島根県雲南市木次町下熊谷字自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで
      - 右岸 島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで
  - (4) 予測の前提となる降雨
    - ・ 年超過確率1/10 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量228mm
    - ・ 年超過確率1/30 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量295mm
    - ・ 年超過確率1/50 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量322mm
    - ・ 年超過確率1/100 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量372mm
    - ・ 年超過確率1/150 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量399mm
  - (5) 河道条件: 現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点：平成27年度）
  - (6) 関係市 雲南市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



浸水深が3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

**凡例**

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 市町境界
- 大臣管理区間



確率規模毎の浸水範囲は現況河道と同様

- 1. 説明文**

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、斐伊川水系斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水区域（浸水深3m(1階居室浸水相当)以上）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、短期河道（令和7年度）の斐伊川、神戸川、境水道、中海、大橋川、宍道湖の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)）、1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)）、1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)）、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)）、1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)）の降雨に伴う洪水により斐伊川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水が想定される区域以外の地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（斐伊川、昭和40年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時に異変を発生するために用いたシミュレーション結果とは異なります。

(4) 想定最大規模の浸水区域は、水防法に基づき令和2年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
- 2. 基本事項等**

(1) 公表年月日 令和4年3月31日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省 中国地方整備局  
 ・出雲河川事務所 斐伊川水系斐伊川

(3) 実施区間  
 ・斐伊川  
 左岸 島根県雲南市木次町下能谷字自蔵1912番の2地先から島根県出雲市出島町19番地の3地先まで  
 右岸 島根県雲南市木次町東日登字新市2025番地先から島根県出雲市島村町373番地の6地先まで

(4) 予測の前提となる降雨  
 ・年超過確率1/10 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量228mm  
 ・年超過確率1/30 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量295mm  
 ・年超過確率1/50 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量327mm  
 ・年超過確率1/100 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量372mm  
 ・年超過確率1/150 斐伊川 : 斐伊川流域の2日間総雨量399mm

(5) 河道条件: 短期河道（令和7年度）

(6) 関係市 雲南市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。